SONY

3-077-160-**03**(2)

CD/DVD プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。







DVP-NS999ES

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

6 ～ 8 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
3 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

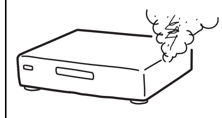
設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



➡

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


指挟み

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

使用上のご注意

設置について

次のような場所には置かないでください。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。その場合は離して使用してください。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。
また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま、本機を動かさないでください。
ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。



窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約 30 分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。
もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

CD/DVD プレーヤーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

目次

警告・注意

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。



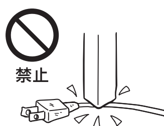




電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



本機は国内専用です

交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。





また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。

警告・注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。





風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。





大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。





安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

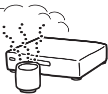




トレイの前に物を置かない

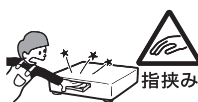
ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。





幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

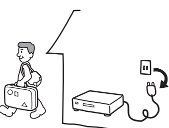




移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。





お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。





ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。





電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。





必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。





➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。





電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。





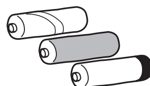
⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 電池の品番を確かめ、お使いください。



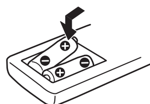


＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

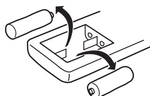




使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。





この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- DVD ビデオ、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW を総称して「DVD」と表現することもあります。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-V	DVD ビデオ /DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R/DVD+RW で使える機能
DVD-RW	DVD-RW（VR モード）で使える機能
VCD	ビデオ CD/ ビデオ CD フォーマットの CD-R/CD-RW で使える機能
SA-CD	スーパーオーディオ CD（Super Audio CD）で使える機能
CD	音楽用 CD/ 音楽用 CD フォーマットの CD-R/CD-RW で使える機能
DATA CD	CD-ROM/CD-R/CD-RW の MP3* 音声で使える機能

* MPEG 1 Audio Layer 3：MPEG によって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
DVD ビデオ（96 ページ）	DVD VIDEO
DVD-RW（96 ページ）	DVD RW
スーパーオーディオ CD	SUPER AUDIO CD
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

「DVD VIDEO」、「DVD-RW」のロゴは商標です。

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。DVD ビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。





再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- CD-ROM（フォト CD を含む）/CD-R/CD-RW
  ただし、以下のフォーマットで記録したディスクは再生できます。
  -音楽用フォーマット
  -ビデオ CD フォーマット
  -ISO9660* レベル 1/ レベル 2/Joliet 準拠の MP3
- CD-EXTRA のデータ部分
- DVD-ROM
- DVD オーディオ

* 国際標準化機構（ISO）が制定した CD-ROM の論理フォーマット。

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）の DVD ビデオ
- NTSC、PAL 以外のカラーテレビ方式（SECAM）対応のディスク

➡ 次のページへつづく

（本機が NTSC、PAL カラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

ご注意

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW 再生時のご注意
CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態が原因で再生できないものがあります。全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。また、CPRM* 対応の DVD-RW ディスクに一世代のみ録画することを許可された映像を記録した部分は「著作権データで制限があります」と画面に表示され、再生できません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
パケットライト方式で作成されたディスクは再生できません。
CD 再生時のご注意
本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

* CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護する為に、映像素材を暗号化する技術です。

DVD、ビデオ CD 再生操作について

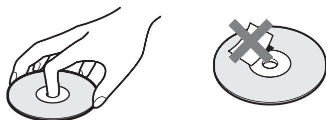
DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

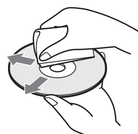
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

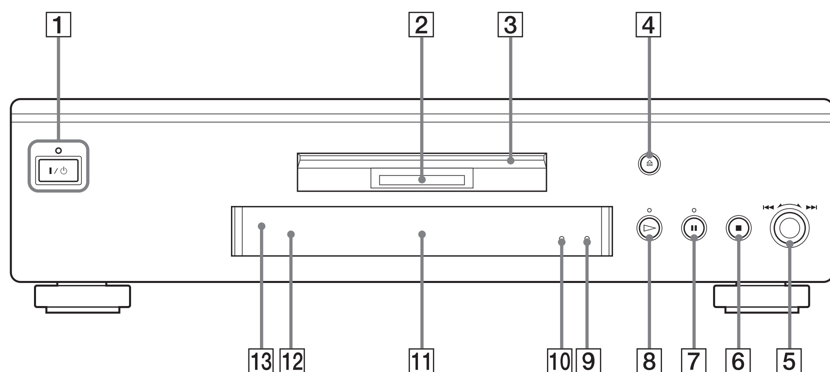


- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面



1 I/⏻（電源）ボタン / ランプ（37）
電源が入っているときは緑に点灯し、スタンバイモード（待機状態）のときは赤く点灯します。

2 MULTI CHANNEL ランプ
次の場合に点灯します。
ーマルチチャンネル音声を再生しているとき
ーディスクが入っていないとき

3 ディスクトレイ（37）

4 ⏏（開 / 閉）ボタン（37）

5 ⏮/⏭（前 / 次）つまみ（38）

6 ■（停止）ボタン（38）

7 ❚❚（一時停止）ボタン（38）

8 ▷（再生）ボタン（37）

9 FL OFF ランプ（12）

10 VIDEO OFF ランプ（37）

11 表示窓（12）

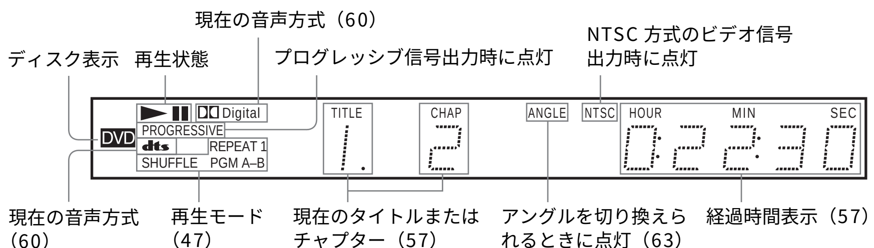
12 SUPER AUDIO CD ランプ
次の場合に点灯します。
ースーパーオーディオ CD の HD レイヤーを再生しているとき
ーディスクが入っていないとき

13 🅁（リモコン受光部）（19）

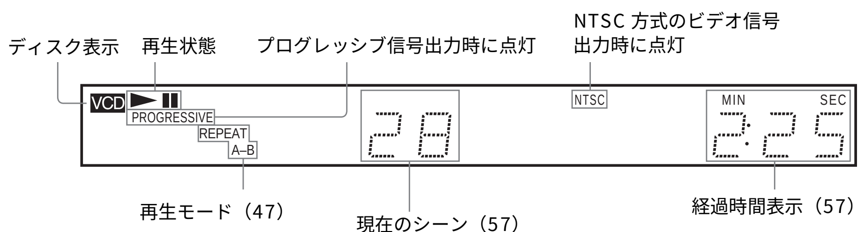
➡ 次のページへつづく

本体の表示窓

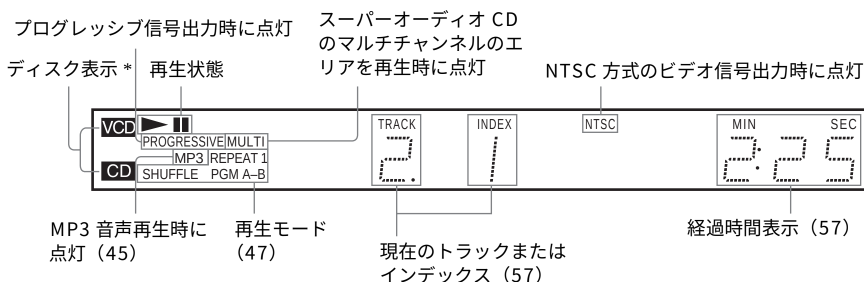
DVD ビデオ /DVD-RW 再生中



ビデオ CD の PBC（Playback Control）再生中（44）



スーパーオーディオ CD/CD/ データ CD（MP3 音声）再生中 / ビデオ CD 再生中（PBC 以外）



* スーパーオーディオ CD の HD レイヤーを再生しているときは、ディスク表示は出ません。

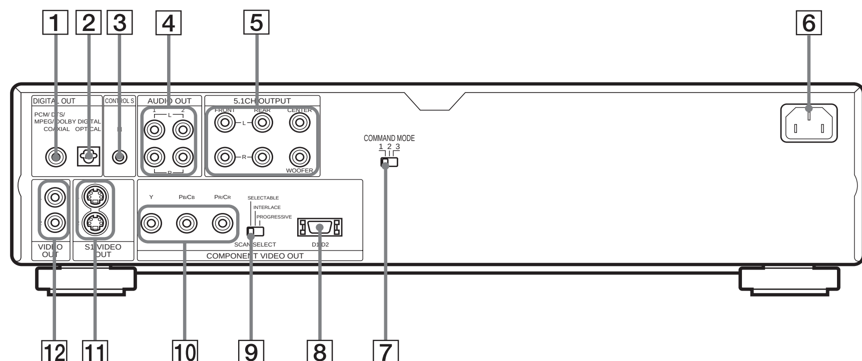
表示窓の表示を消すには

スクロールキーを使って「FL ON/OFF」を選び、リモコンを本機に向けてスクロールキーを押します。表示を消すと、本体の FL OFF ランプが点灯します。

ヒント

設定画面の「視聴設定」で表示窓の明るさを調節できます（82 ページ）。

本体裏面



1 DIGITAL OUT COAXIAL（音声デジタル出力（同軸））端子（29）（30）（31）

2 DIGITAL OUT OPTICAL（音声デジタル出力（光））端子（29）（30）（31）

3 CONTROL S IN（コントロール S 入力）端子（25）

4 AUDIO OUT L/R（1、2）（音声出力）端子（21）（28）（29）（30）

5 5.1CH OUTPUT 端子（31）

6 AC IN 端子（19）

7 COMMAND MODE スイッチ（19）

8 COMPONENT VIDEO OUT D1/D2（コンポーネント 映像出力）端子（23）

9 COMPONENT VIDEO OUT/SCAN SELECT スイッチ（81）

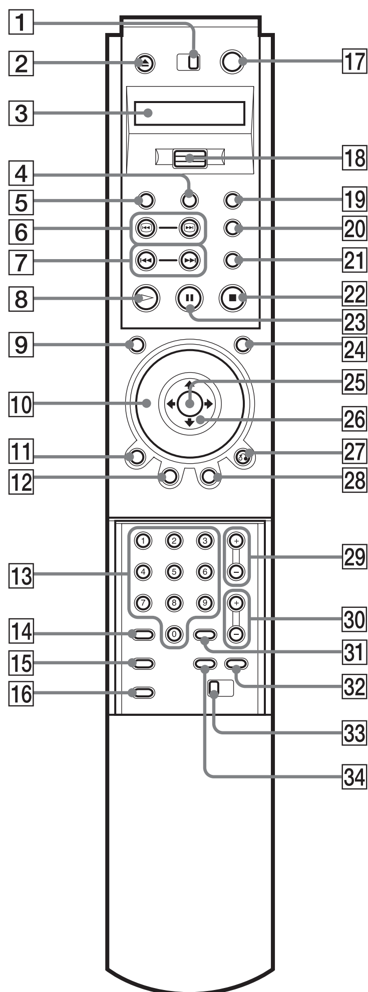
10 COMPONENT VIDEO OUT Y、PB/CB、PR/CR（コンポーネント映像出力）端子（23）

11 S1 VIDEO OUT（1、2）（S1 映像出力）端子（23）

12 VIDEO OUT（1、2）（映像出力）端子（21）（23）

→ 次のページへつづく

リモコン

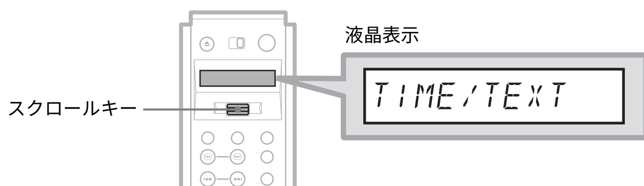


1. TV/DVD スイッチ（75）
2. ⏏ 開 / 閉ボタン（38）
3. 液晶表示（15）
4. プログラムボタン（47）
5. ビデオコントロールボタン（65）
6. ⏪/⏩サーチボタン（39）
7. ⏮ 前 /⏭ 次ボタン（38）
8. ▷ 再生ボタン*（37）
9. ピクチャーナビボタン（53）
10. クリックシャトル（39）
11. 画面表示ボタン（16）
12. トップメニューボタン（41）
13. 数字ボタン*（41）
14. クリアボタン（47）
15. サーチモードボタン（52）
16. ピクチャーメモリーボタン（81）
17. 電源ボタン（37）
18. スクロールキー（15）
19. A-B ボタン（51）
20. ブックマークボタン（54）
21. リプレイボタン（38）
22. ■ 停止ボタン（38）
23. ❚❚ 一時停止ボタン（38）
24. ジョグボタン（39）
25. 決定ボタン（33）
26. ←/↑/↓/→ ボタン（41）
27. ↩ リターンボタン（38）
28. メニューボタン（41）
29. チャンネル +/– ボタン*（75）
30. 音量 +/– ボタン*（75）
31. 決定ボタン（25 と同じ働きをします）
32. ワイド切換ボタン（75）
33. リモコンモードスイッチ（DVD 1、2、3）（19）
34. 入力切換ボタン（75）

* 凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ、音量ボタン、チャンネルボタンは「+」のみ）。操作の目印としてお使いください。

リモコンの液晶表示の使いかた

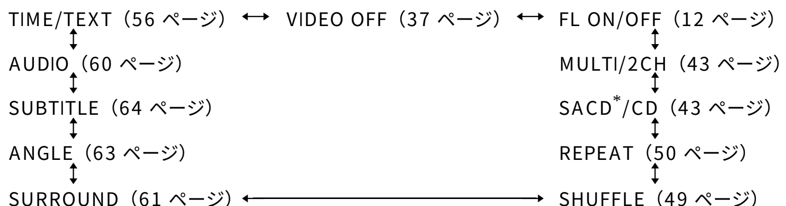
リモコンの液晶表示とスクロールキーを使って、字幕切替や音声切替などいくつかの項目をかんたんに設定することができます。



液晶表示とスクロールキーを操作する

1 スクロールキーを上下に動かして設定する項目を選ぶ。

液晶表示では以下の項目を設定することができます。スクロールキーを上下に動かすと項目が変わります。上下どちらかに倒し続けると、そのままスクロールします。各項目の詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

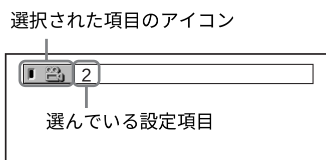


* スーパーオーディオ CD

2 リモコンの先端部を本機のリモコン受光部に向けて、液晶表示に が表示されるようにスクロールキー（「PUSH」と書かれている部分）を押す。

選んだ項目が、リモコンの液晶に表示されている間に押します。本機がリモコンの信号を受信して選んだ項目の設定値が切り換わります。項目によってはスクロールキーを繰り返して押して操作する場合もあります。

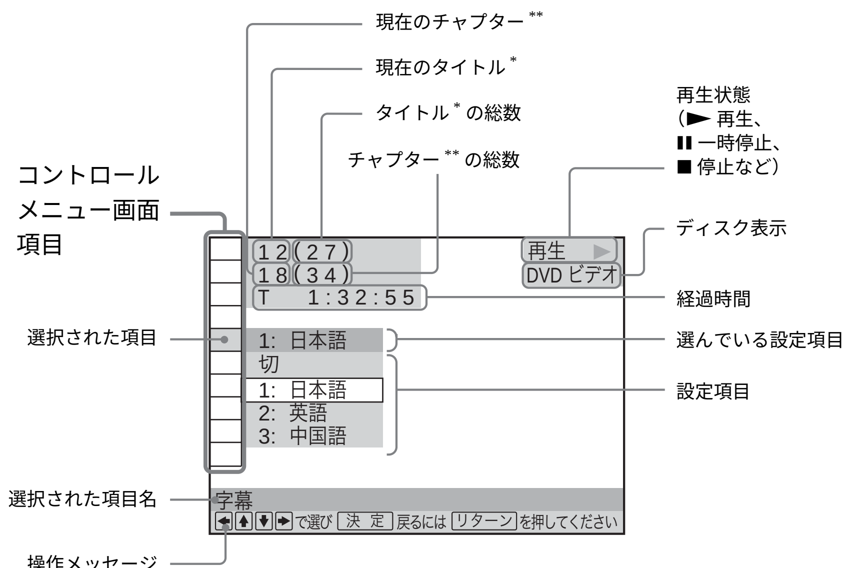
例：「アングル」を選んだとき



コントロールメニュー画面の使いかた

コントロールメニューを使って、いろいろな機能の設定をしたり、情報を見たりすることができます。表示される項目はディスクの種類によって変わります。

例：DVD ビデオ再生時のコントロールメニュー画面 1



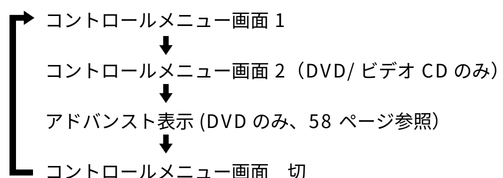
* ビデオ CD（PBC 再生時）のときはシーン、ビデオ CD/CD のときはトラック、データ CD のときはアルバムが表示されます。

** ビデオ CD/CD のときはインデックス、データ CD のときはトラックが表示されます。

コントロールメニュー画面で操作する

1 画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。繰り返して押すと、画面が以下のように切り換わります。



2 ↑/↓ で設定したい項目を選び、ENTER を押す。

選択したコントロールメニュー画面項目の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で設定項目を選び、ENTER を押す。

ヒント

コントロールメニュー画面の「アドバンスト」で「消」を選ぶと（58 ページ）、アドバンスト表示は表示されません。

コントロールメニュー画面項目一覧

各項目の詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

項目	項目名・機能・対応するディスク
	タイトル（52 ページ）/ シーン（52 ページ）/ トラック（52 ページ） 再生するタイトルやシーン、トラックを選びます。 DVD-V DVD-RW VCD
	チャプター（52 ページ）/ インデックス（52 ページ） 再生するチャプターやインデックスを選びます。 DVD-V DVD-RW VCD
	アルバム（45 ページ） 再生するアルバムを選びます。 DATA CD
	トラック（52 ページ） 再生するトラックを選びます。 SA-CD CD DATA CD
	インデックス（52 ページ） 再生するインデックスを選びます。 SA-CD CD
	オリジナル / プレイリスト（42 ページ） 再生するタイトルの種類を選びます。 DVD-RW
	時間 / テキスト（56 ページ） 時間 / メモ（69 ページ） 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。 DVD テキスト、スーパーオーディオ CD テキストや CD テキスト、データ CD のトラック名を表示します。 ディスクに名前を付けたり、保存されたメモを表示します。 DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD
CH	マルチ /2CH（43 ページ） スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。 SA-CD
	音声（60 ページ） 音声を切り換えます。 DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD
	字幕（64 ページ） 字幕を表示します。 字幕の言語を切り換えます。 DVD-V DVD-RW
	アングル（63 ページ） アングルを切り換えます。 DVD-V
	サラウンド（61 ページ） サラウンドの設定をします。 DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD
	アドバンスト（58 ページ） 再生中のディスクの情報（ビットレートやレイヤー）を見ます。 DVD-V DVD-RW
	視聴制限（70 ページ） 本機での再生を禁止する設定をします。 DVD-V VCD SA-CD CD

➡ 次のページへつづく

	設定（78 ページ） クイック設定（33 ページ） 簡易設定をします。 DVD 再生時の字幕言語やメニューの表示言語や画像、音声の出力、使っているスピーカーの大きさについて設定します。 カスタム設定（78 ページ） 簡易設定の項目に加え、さまざまな設定をします。 リセット 「設定」での設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。 DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD
	プログラム（47 ページ） タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生します。 DVD-V VCD SA-CD CD
	シャッフル（49 ページ） タイトルやチャプター、トラックをランダム（無作為）な順番で再生します。 DVD-V VCD SA-CD CD
	リピート（50 ページ） ディスク全体（全タイトル / 全トラック / 全アルバム）または 1 つのチャプター / トラック / アルバムだけを繰り返し再生します。 DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD
	A-B リピート（51 ページ） 再生したい部分を指定して、繰り返し再生します。 DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD
	ビデオコントロール（65 ページ） 本機からの映像信号を調整します。見たいプログラムに合った設定を選びます。あるいは色調や明るさ、その他について個別に詳しく設定できます。 DVD-V DVD-RW VCD
	ピクチャーナビゲーション（53 ページ） 画面を 9 分割して画像を表示し、見たいシーンを探します。 DVD-V VCD

ヒント

「切」以外を選んでいるとき、コントロールメニューアイコンが緑に点灯します。
→ （「サラウンド」、「プログラム」、「シャッフル」、「リピート」、「A-B リピート」のみ）。「アングル」では、アングルを切り換えられるときに、アイコンが緑に点灯します。「ビデオコントロール」では、「スタンダード」以外を選んでいるときに、アイコンが緑に点灯します。「ピクチャーナビゲーション」では、ブックマークが登録されているときに、アイコンが緑に点灯します。

はじめに

ここでは、テレビにつないでディスクを再生するまでの、最低限必要な接続や設定、操作について説明します。本機の性能を充分にお楽しみになるには「接続と準備」（23 ページ）以降をご覧ください。

ご注意

- 映像入力端子のないテレビに接続することはできません。
- コンセントから本機および接続する機器のプラグを抜いてから接続してください。

手順 1：付属品を確認する

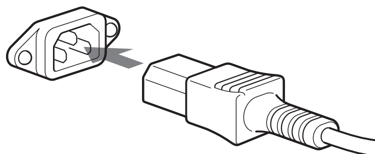
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 電源コード（1）
- 映像音声コード（ピンプラグ× 3 ←→ ピンプラグ× 3）（1）
- リモコン（1）
- 単 3 形乾電池（R6）（2）
- ソニーご相談窓口のご案内 （1）
- 保証書 （1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

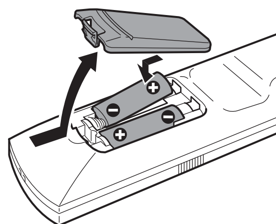
電源コードを接続する

付属の電源コードを本体後面の AC IN 端子に接続します。



手順 2：リモコンの準備をする

⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に合わせて、単 3 形乾電池（R6、付属）2 個を入れてください。
本機を操作するときは、本機のリモコン受光部 ⓡ にリモコンを向けて操作してください。



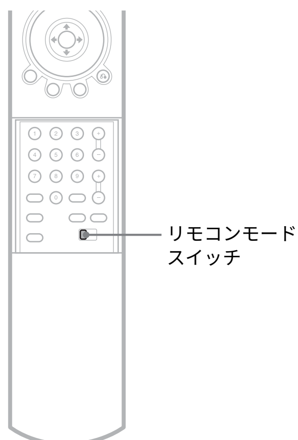
ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。
  次のことを必ず守ってください。
  - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 ⓡ に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

2 台以上のソニー DVD プレーヤーをお持ちのときは

付属のリモコンに他の DVD プレーヤーが反応するときは、本機と付属のリモコンに他の DVD プレーヤーと違うリモコンモードを設定してください。
本機はお買い上げ時に「DVD1」に設定されています。

➡ 次のページへつづく



1 リモコンのリモコンモードスイッチを切り換えて、リモコンモードを選ぶ。

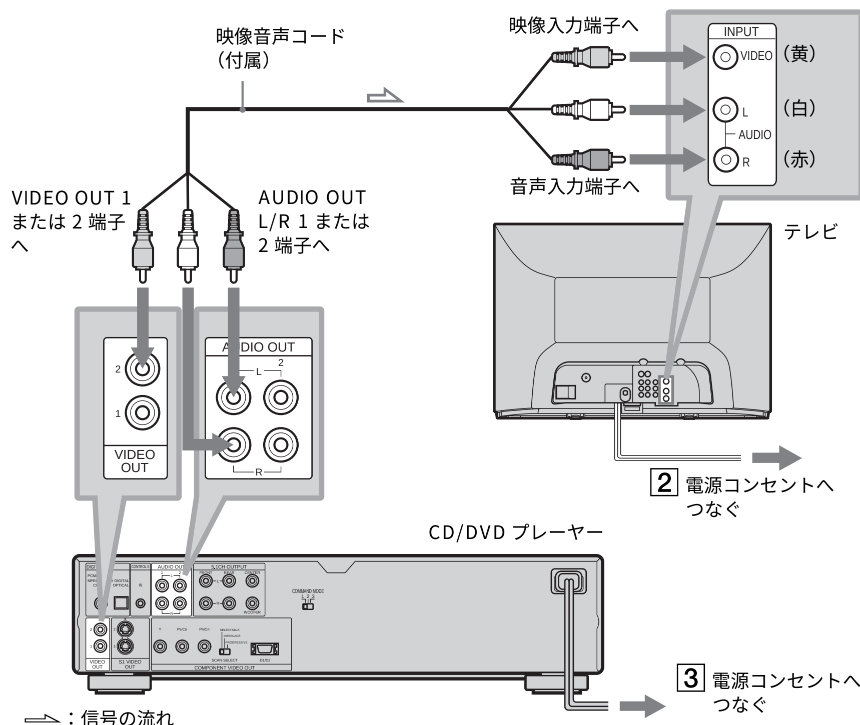
他の DVD プレーヤーと違う設定にします。

例えば他の DVD プレーヤーが本機の付属リモコン（DVD 1）に反応するときは、DVD 2 または DVD 3 に設定します。

2 本体後面の COMMAND MODE スイッチを切り替えて、リモコンのリモコンモードに合わせる。

手順 3：テレビとつなぐ

1 ～ 3 の順で、付属の映像音声コードや電源コードをつなぎます。電源コードは最後につないでください。



従来の 4:3 画面テレビとつなぐとき

再生するディスクによっては、画像がご希望の形に表示されないことがあります。表示画像を切り換えるには 80 ページをご覧ください。

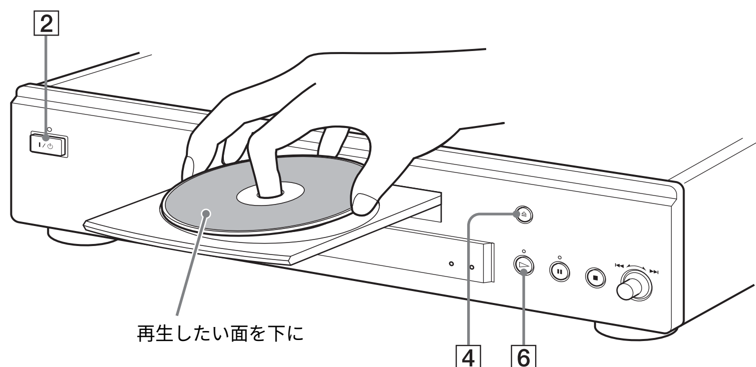
プログレッシブ方式に対応したテレビとつなぐとき（NTSC のみ）

COMPONENT VIDEO OUT（525p）のY、PB/CB、PR/CR または D1/D2 端子（525p）につないでください。23 ページの C または D の接続をして、クイック設定をしてください
（33 ページ）。

ヒント

モノラルテレビと接続するときは、別売りのステレオ・モノラル変換コードを使います。本機の VIDEO OUT 1 または 2 端子とテレビの映像入力端子をつなぎ、本機の AUDIO OUT L/R 1 または 2 端子とテレビの音声入力端子をつなぎます。

手順 4：ディスクを再生する



1 テレビの電源を入れる。

2 I/⏻（電源）ボタンを押す。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

4 本体の⏏を押してディスクトレイを開ける。

5 ディスクを置く。
再生したい面を下にして置きます。

6 ▷ を押す。
ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

手順 6 の後に

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。そのときは表示されたメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。DVD ビデオは 41 ページ、ビデオ CD は 44 ページをご覧ください。

再生を止めるには

■ を押します。

ディスクを取り出すには

⏏ を押します。

電源を切るには

I/⏻（電源）ボタンを押します。本機はスタンバイモードになり、I/⏻ ランプが赤く点灯します。

接続と準備について

手順 1 ～ 4 に従って、接続とクイック設定をします。
機器の電源は、接続する前に必ず切ってください。また、付属品を確認し、リモコンに電池を入れておきます（19 ページ）。

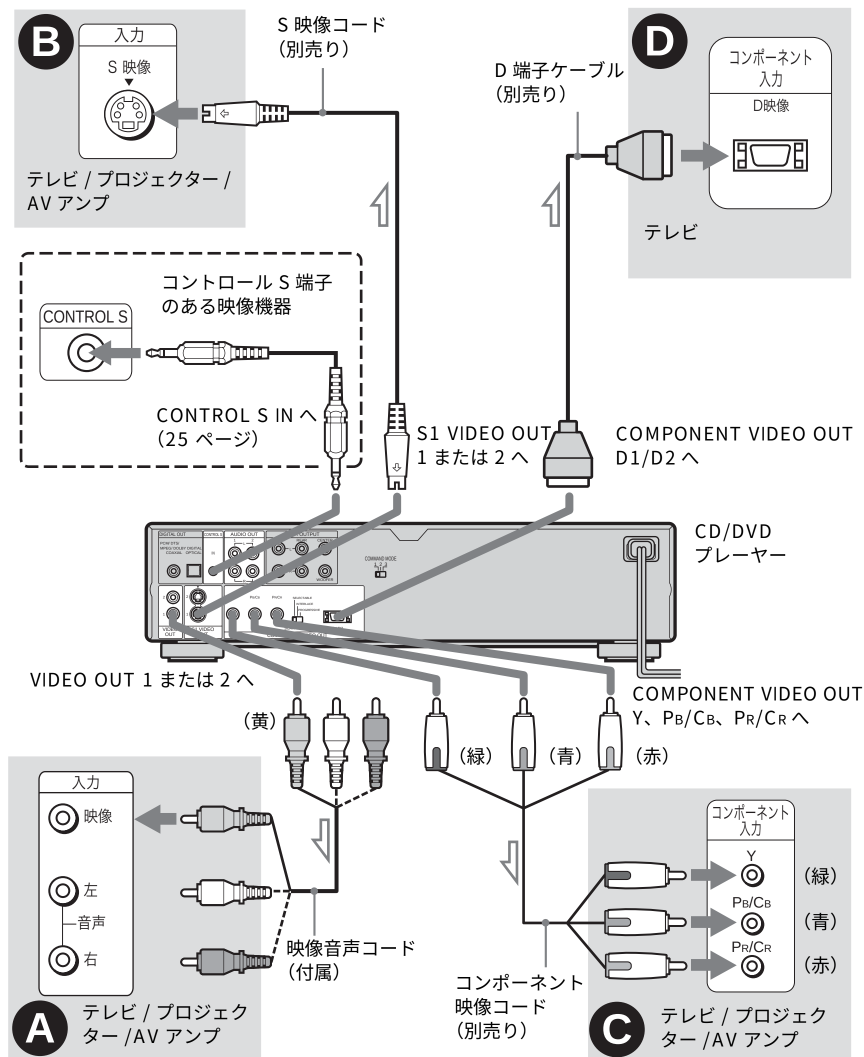
ご注意

- ノイズや雑音の原因となるのでプラグは端子にしっかりと差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

手順 1：映像コードをつなぐ

CD/DVD プレーヤーとテレビやモニター、プロジェクター、AV アンプなどを映像コードでつなぎます。お手持ちの機器の入力端子によって、A ～ D の 4 種類のつなぎかたから 1 つ選んで、接続します。プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビ等に接続して、プログレッシブ映像をお楽しみになる場合は C または D の接続をしてください。

➡ 次のページへつづく


B
入力
S 映像
S 映像コード
（別売り）
テレビ / プロジェクター /
AV アンプ
D
D 端子ケーブル
（別売り）
コンポーネント
入力
D映像
テレビ
コントロール S 端子
のある映像機器
CONTROL S
CONTROL S IN へ
（25 ページ）
S1 VIDEO OUT
1 または 2 へ
COMPONENT VIDEO OUT
D1/D2 へ
CD/DVD
プレーヤー
VIDEO OUT 1 または 2 へ
COMPONENT VIDEO OUT
Y、PB/CB、PR/CR へ
（黄）
（緑）
（青）
（赤）
入力
映像
左
音声
右
映像音声コード
（付属）
コンポーネント
映像コード
（別売り）
コンポーネント
入力
Y
PB/CB
PR/CR
（緑）
（青）
（赤）
A
テレビ / プロジェク
ター /AV アンプ
C
テレビ / プロジェク
ター /AV アンプ
：信号の流れ

Ⓐ 映像入力端子のある機器とつなぐ

映像音声コード（付属）の黄プラグを、黄（映像）端子につなぎます。標準的な映像が楽しめます。



赤プラグと白プラグは音声入力端子とつなぐとき（28 ページ）に使います（テレビのみとつないで映像を出力する場合）。

Ⓑ S 映像入力端子のある機器とつなぐ

S 映像コード（別売り）を使ってつなぎます。よりきれいな映像が楽しめます。



Ⓒ コンポーネント映像（Y、PB/CB、PR/CR）入力端子のある機器とつなぐ

コンポーネント映像コード（別売り）、または映像コード（別売り）の同じ種類で同じ長さのものを 3 本使ってつなぎます。輝度（Y）、色差（PB/CB、PR/CR）信号それぞれ独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現します。プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビとこの接続をしたとき、「画面設定」の「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定してください。



Ⓓ D 映像入力端子のあるテレビとつなぐ

D 端子ケーブル（別売り）を使ってつなぎます。ケーブル 1 本で簡単にコンポーネント映像で接続でき、映像本来の色を忠実に再現します。本機は D2 映像信号まで対応しています。プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビとこの接続をしたとき、「画面設定」の「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定してください。



音声を出力するには、別に音声コードをつなぎます。

ヒント

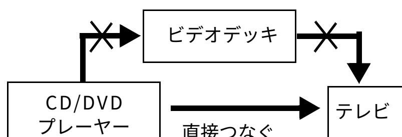
コントロール S 端子のある映像機器につなぐと、つないだ他機から本機を制御できます。映像および音声のコードをつないでから、コントロール S コード（別売り）で CONTROL S 端子につないでください。詳しくはつないだ機器の説明書をご覧ください。



➡ 次のページへつづく

ご注意

- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力（Y/PB/PR）には対応していません。
- 本機とテレビの間にビデオデッキなどを接続しないでください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映すと、画像が乱れることがあります。テレビに映像音声入力端子がひとつしかない場合は、本機をテレビの映像音声入力端子につなぎます。



- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビ等につなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをお勧めします。本機とテレビとの互換性に関しては、サービス窓口にお問い合わせください。
- PAL カラーシステムで記録されたディスクを再生するときは、PAL カラーシステムの映像信号を出力します。NTSC カラーシステム対応のテレビでは映像が乱れます。この場合 PAL カラーシステムに対応したテレビなどにつないでください。

手順 2：音声コードをつなぐ

お手持ちの機器に応じた接続方法を選んで、音声コードをつないでください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続方法を選ぶ

A ～ D のつなぎかたから 1 つを選んでください。

接続する機器	接続	接続（例）
テレビ • サラウンド効果：なし	A （28 ページ）	
ステレオアンプと 2 台のスピーカー • サラウンド効果：なし または MD デッキ /DAT デッキ • サラウンド効果：なし	B （29 ページ）	
ドルビー * サラウンド（プロロジック）デコーダー付 AV アンプと 3 ～ 6 台のスピーカー • サラウンド効果：ドルビーサラウンド（プロロジック）（94 ページ）	C （30 ページ）	
5.1 チャンネル入力端子付 AV アンプと 4 ～ 6 台のスピーカー • サラウンド効果：ドルビーデジタル（5.1ch）（94 ページ）、DTS（5.1ch）（96 ページ）、スーパーオーディオ CD マルチ音声（93 ページ）、MPEG オーディオ（5.1ch）（96 ページ） または ドルビーデジタルまたは DTS**、MPEG オーディオデコーダー付 AV アンプ（デジタル入力端子付）と 6 台のスピーカー • サラウンド効果：ドルビーデジタル（5.1ch）（94 ページ）、DTS（5.1ch）（96 ページ）、MPEG オーディオ（5.1ch）（96 ページ）	D （31 ページ）	

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

** デジタルシアターシステムズ社からのライセンスに基づき製造されています。米国特許番号は 5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、その他世界各地での特許は認可済みまたは申請中です。DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
著作権 1996 年、2000 年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。

ヒント

96kHz/24bit 対応のアンプとつなぐときは D のつなぎかたをご覧ください。

➡ 次のページへつづく

A テレビとつなぐ

テレビのスピーカーから音を出すときの接続です。

CD/DVD プレーヤー

A

AUDIO OUT

1 L 2

R

（黄）*

（白）

（赤）

（黄）

（白）

（赤）

テレビ

映像音声コード
（付属）

AUDIO OUT
L/R 1 または 2 へ

音声入力端子へ

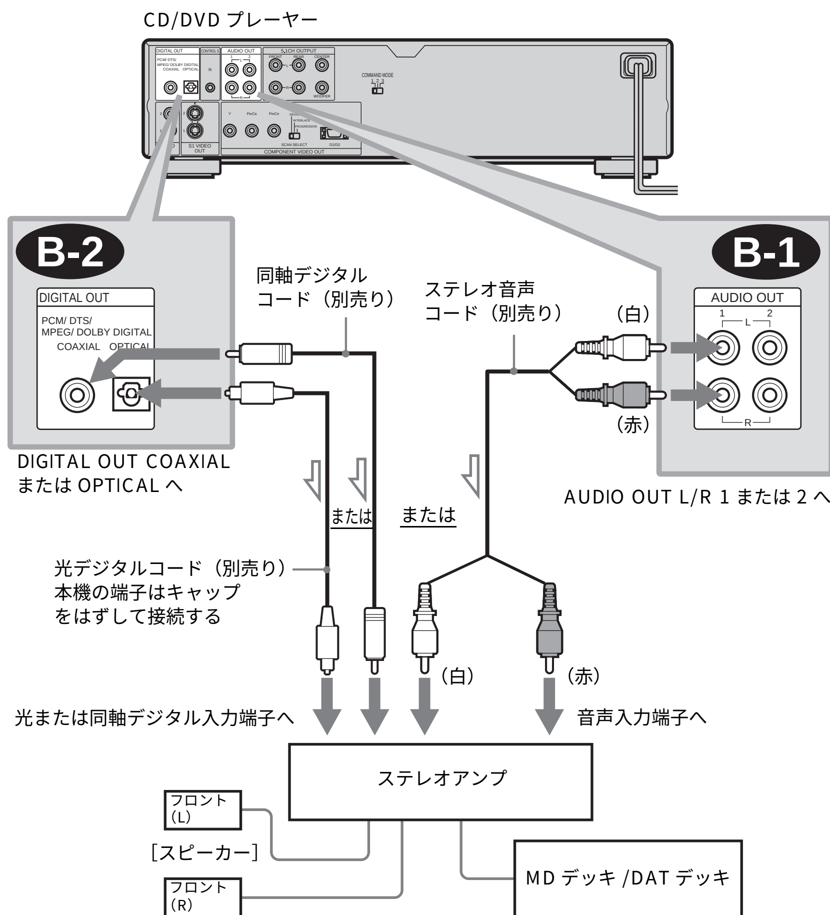
：信号の流れ

* 映像音声コードの黄プラグは、映像入力端子とつなぐとき（23 ページ）に使います。

ヒント
モノラルテレビと接続するときは、別売りのステレオ・モノラル変換コードを使います。本機の AUDIO OUT L/R 1 または 2 端子とテレビの音声入力端子をつなぎます。

B ステレオアンプと 2 台のスピーカーにつなぐ /MD デッキ、DAT デッキとつなぐ

ステレオアンプの音声入力端子が L、R のみのときは B-1 でつなぎます。デジタル入力端子もついているときまたは MD デッキや DAT デッキとつなぐときは B-2 でつなぎます。アンプを経由せず、直接本機と MD デッキや DAT デッキをつなぐこともできます。



：信号の流れ

ヒント

- B-1 では、ステレオ音声コードのかわりに、映像音声コード（付属）を使ってつなぐこともできます。
- 十分な音声効果を楽しむために、リスニングポジションがスピーカーの間に位置するようにスピーカーを設置してください。

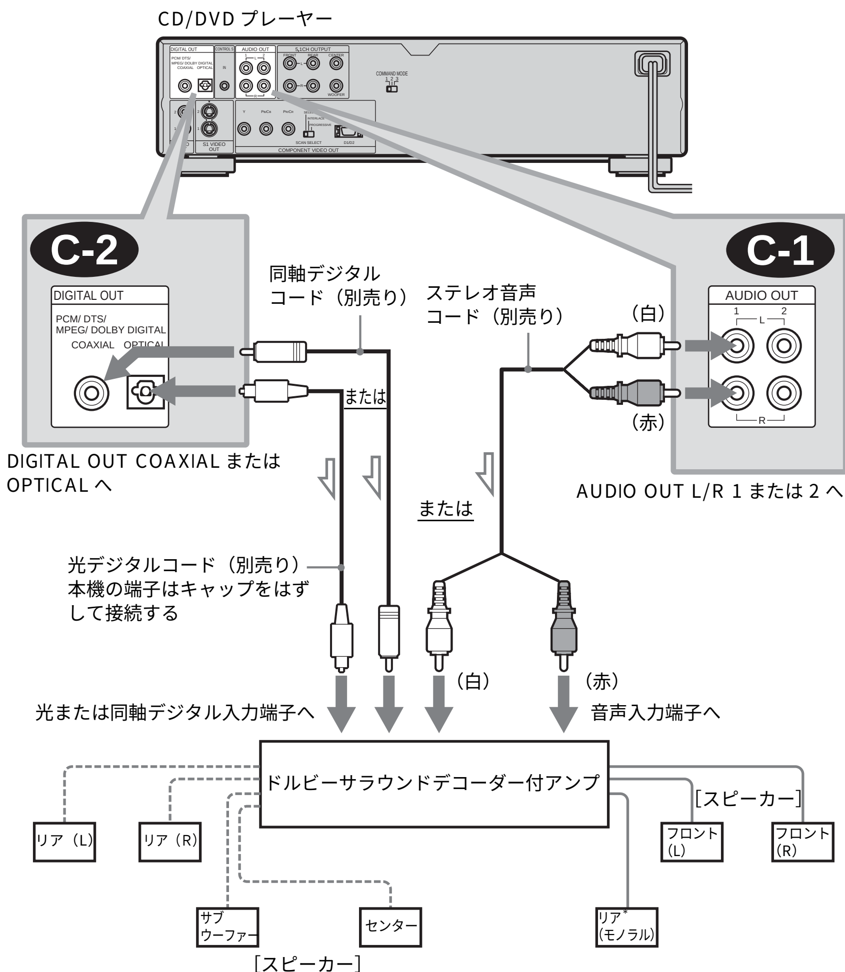
ご注意

スーパーオーディオ CD の音声はデジタル出力端子から出力されません。

➡ 次のページへつづく

C ドルビーサラウンド（プロロジック）デコーダー付 AV アンプと 3 〜 6 台のスピーカーにつなぐ

ドルビーサラウンド音声、またはマルチチャンネル音声（ドルビーデジタル）を再生するときに、サラウンド効果が得られます。
アンプの音声入力端子が、L、R のみのときは C-1 でつなぎます。デジタル入力端子がついているときは C-2 でつなぎます。



⟹：信号の流れ

* 6 台のスピーカーをつなぐときは、リア（モノラル）はつなぎません。

ヒント

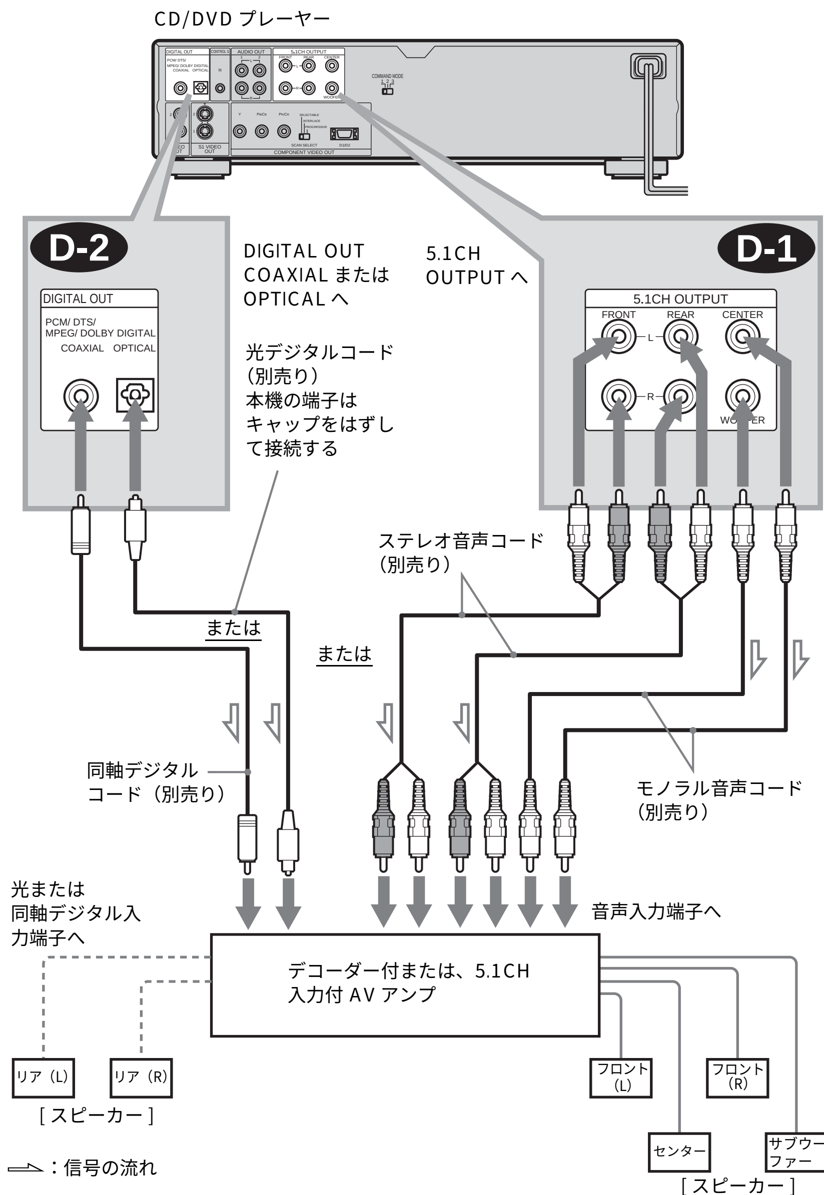
スピーカーの配置についてはつなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

スーパーオーディオ CD の音声はデジタル出力端子から出力されません。

D ドルビーデジタル、DTS デコーダーまたは MPEG オーディオ付 AV アンプ（デジタル入力端子付）または 5.1 チャンネル入力端子付き AV アンプと 4 ～ 6 台のスピーカーにつなぐ

5.1 チャンネル入力端子が付いているときは D-1 でつなぎます。アンプにドルビーデジタルまたは DTS、MPEG オーディオデコーダーが付いているときは D-2 でつなぎます。ご自宅でより臨場感のある音像を楽しめます。



→ 次のページへつづく

D-1 5.1 チャンネル入力端子付きAV アンプと接続した場合

本機のドルビーデジタルまたは DTS、MPEG オーディオ、スーパーオーディオ CD マルチデコーダーを使ったサラウンドがお楽しみいただけます。7.1 チャンネルの MPEG オーディオ信号は 5.1 チャンネルの信号に変換されます。

D-2 ドルビーデジタルまたは DTS デコーダー、MPEG オーディオ付き AV アンプ（デジタル入力端子付）とデジタル接続した場合

お使いのアンプのドルビーデジタルまたは DTS、MPEG オーディオデコーダーを使ったサラウンドがお楽しみいただけます。この場合、本機のサラウンド効果は、お楽しみいただけません。

ヒント

- D-2 で接続した場合、スピーカーの配置についてはつなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 十分なサラウンド音効果を楽しむために
  - 高品質のスピーカーをお使いください。
  - フロントスピーカー、リアスピーカー、センタースピーカーは同サイズ、同品質のものをお使いください。
  - サブウーファーはフロントスピーカー（右）とフロントスピーカー（左）の間に設置してください。

ご注意

D-2 接続した場合

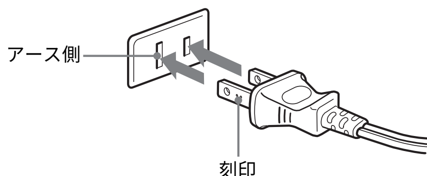
- この接続をしたときは、クイック設定で「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、「DTS」を「DTS」にします（33 ページ）。
  MPEG オーディオデコーダー付きのアンプをお使いのときは、設定画面の「視聴設定」で「MPEG」を「MPEG」にします（85 ページ）。
- スーパーオーディオ CD の音声はデジタル出力端子から出力されません。
- 96kHz に対応したアンプにつないでいるときは、設定画面の「オーディオ設定」で「48kHz/96kHz PCM」を「96kHz/24bit」にしてください（85 ページ）。

手順 3：電源コードをつなぐ

本機およびテレビなどの接続した機器の電源コードを電源コンセントにつなぎます。

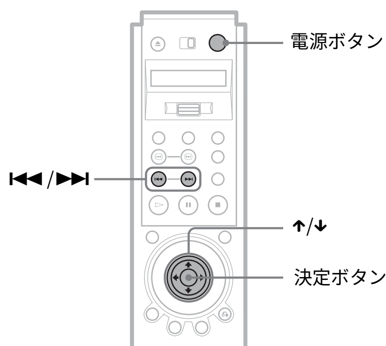
電源コードの極性について

各機器の電源コードの極性を合わせて、より良い音質で音楽をお楽しみいただくため、本機の電源コードには電極に刻印が入っています。刻印が入っている側がコンセントの差し込み口の長い方（アース側）にくるように差し込みます。
電源コードはすべての接続が終ってから差し込んでください。



手順 4：クイック設定をする

以下の手順に沿って基本の設定をします。
1 つの設定をとばして次の設定に進むには、▶▶I を押します。1 つ前の設定に戻るには、I◀◀ を押します。（本体の I◀◀ /▶▶I つまみを使うこともできます）



1 テレビの電源を入れる。

2 電源ボタンを押す。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

画面の下に「クイック設定するには [決定] を押してください」が表示されます。このメッセージが表示されないときは、コントロールメニュー画面で「設定」の「クイック」を選んで、クイック設定を始めます（78 ページ）。

4 ディスクが入っていない状態で決定ボタンを押す。

接続したテレビの種類を設定する画面が表示されます。

画面設定	
TVタイプ:	16:9
スクリーンセーバー:	16:9
背景画面:	4:3 レターボックス
黒レベルセットアップ:	4:3 パンスキャン
黒レベルセットアップ (コンポーネント出力):	切
コンポーネント出力:	インターレース
4:3 出力	フル

5 ↑/↓で接続したテレビに合った設定を選ぶ。

◆ ワイドテレビまたはワイドモードのある 4：3 画面のテレビと接続したとき

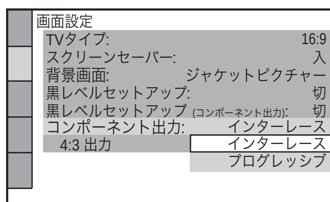
- 「16:9」（80 ページ）

◆ 従来の 4：3 画面のテレビと接続したとき

- 「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」（80 ページ）

6 決定ボタンを押す。

映像方式の種類を設定する画面が表示されます。



7 ↑/↓で接続したテレビへ出力する映像方式の種類を選ぶ。

Ⓒ や Ⓓ の接続（23 ページ）でプログレッシブ映像を楽しみたい場合、「プログレッシブ」を選択してください。

◆ インターレース方式に対応するテレビ（従来のテレビ）と接続したとき

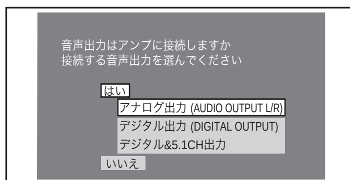
- インターレース（81 ページ）

◆ プログレッシブ方式に対応するテレビと接続したとき（NTSC のみ）

- プログレッシブ（81 ページ）

8 決定ボタンを押す。

アンプの接続について設定する画面が表示されます。



9 ↑/↓でアンプをつなぐときの接続端子を選んで決定ボタンを押す。

28 ～ 31 ページで選択した音声コードの接続（A～D）に適した項目を選びます。

A

- 本機をテレビとだけつないでいる場合は「いいえ」を選びます。クイック設定が終了します。接続と設定はこれで完了です。

B-1 または **C-1**

- 「アナログ出力（AUDIO OUTPUT L/R)」を選びます。クイック設定が終了します。接続と設定はこれで完了です。

B-2 または **C-2** または **D-2**

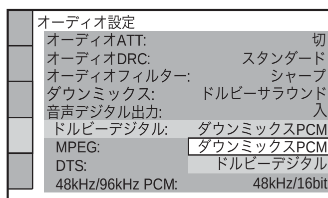
- 「デジタル出力（DIGITAL OUTPUT)」を選びます。ドルビーデジタル音声の出力を設定する画面が表示されます。

D-1 または **D-1** と **D-2**

- 「デジタル＆ 5.1CH 出力」を選びます。ドルビーデジタル音声の出力を設定する画面が表示されます。

10 ↑/↓ で接続したアンプへ出力するドルビーデジタル音声信号の種類を選ぶ。

29 ～ 31 ページで選択した音声コードの接続（B～D）に適した信号を選びます。



B-2 または **C-2**

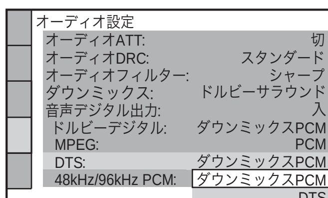
- 「ダウンミックス PCM」（85 ページ）

D-2

- 「ドルビーデジタル」（ドルビーデジタルデコーダー付 AV アンプと接続したときのみ）（85 ページ）

11 決定ボタンを押す。

DTS 音声の出力を設定する画面が表示されます。



12 ↑/↓ で接続したアンプへ出力する DTS 音声信号の種類を選ぶ。

29 ～ 31 ページで選択した音声コードの接続（B～D）に適した項目を選びます。

B-2 または C-2

- 「ダウンミックス PCM」（85 ページ）

D-2

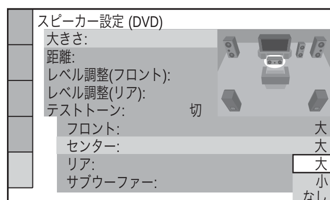
- 「DTS」（DTS デコーダー付 AV アンプと接続したときのみ）（85 ページ）

13 決定ボタンを押す。

- 手順 9 で「デジタル出力（DIGITAL OUTPUT）」を選んだときは、クイック設定が終了します。接続と設定はこれで終わりです。MPEG オーディオデコーダー付きアンプを接続しているときは、「MPEG」を「MPEG」にしてください（85 ページ）。
- 手順 9 で「デジタル＆ 5.1CH 出力」を選んだときはスピーカーを設定する画面が表示されます。

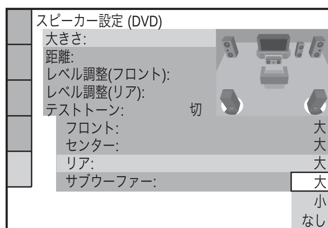
14 ↑/↓ でセンタースピーカーの大きさを選ぶ。

センタースピーカーを接続していないときは「なし」を選びます（87 ページ）。



15 決定ボタンを押す。

リアスピーカーの大きさを設定する画面が表示されます。

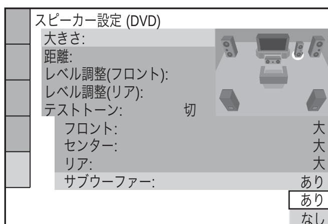


16 ↑/↓ でリアスピーカーの大きさを選ぶ。

リアスピーカーを接続していないときは「なし」を選びます。

17 決定ボタンを押す。

サブウーファーを設定する画面が表示されます。



18 ↑/↓ でサブウーファーをつないでいるかどうかを選ぶ。

19 決定ボタンを押す。

クイック設定が終了します。接続と設定はこれで終わりです。

音声効果をより楽しむ

音声効果をより楽しむには、29 ～ 31 ページで選択した音声コードの接続（B～D）にあわせて以下のように設定します。これらはお買い上げ時の設定のため、最初に本機を接続した時に設定を変える必要はありません。
設定の操作については「設定画面を使う」（78 ページ）をご覧ください。

➡ 次のページへつづく

音声コードの接続（28 ～ 31 ページ）

A のとき
- 必要な設定はありません。

B-1 または **C-1** のとき
- 「ダウンミックス」を「ドルビーサラウンド」に設定する（84 ページ）。

B-2 または **C-2** または **D-2** のとき
- 「ダウンミックス」を「ドルビーサラウンド」に設定する（84 ページ）。
- 「音声デジタル出力」を「入」に設定する（85 ページ）。

D-1 のとき
- 「距離」「レベル調整（フロント）」「レベル調整（リア）」を接続したスピーカーに合わせて設定する（87 ページ）。

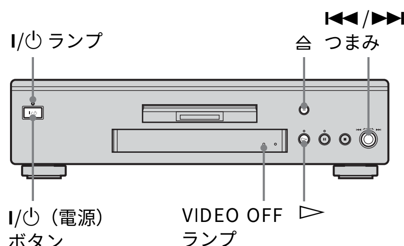
ヒント
- **B-1** **C-1** **D-1** **接続をした場合**
  音量を下げても音が歪む場合は、「オーディオATT」を「入」にしてください（84 ページ）。
- **B-2** **C-2** **D-2** **接続をした場合**
  接続したアンプが 96kHz 音声デジタル入力に対応しているときのみ「48kHz/96kHz PCM」を「96kHz/24bit」にしてください（85 ページ）。

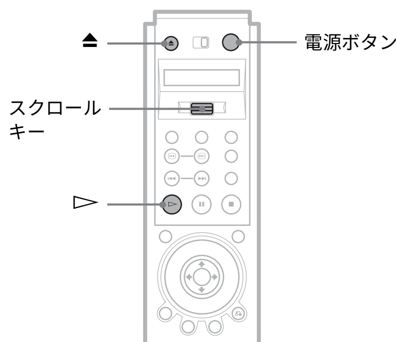
ディスクを再生する

DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD

DATA CD

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
ディスクによっては、禁止されている操作もあります。





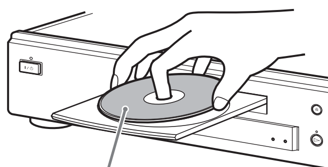
1 テレビの電源を入れる。

2 電源ボタンを押す。
本機の電源が入り、I/⏻ ランプが緑に点灯します。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

◆ アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機の音声が出るようにアンプの入力を切り換えます。

4 本体の⏏を押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く。



5 ▷ を押す。
ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。テレビまたはアンプで音量を調整します。
ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。
DVD ビデオ再生の場合は 41 ページ、ビデオ CD の場合は 44 ページ をご覧ください。

電源を切るには
電源ボタンを押します。本機はスタンバイモード（待機状態）になります。

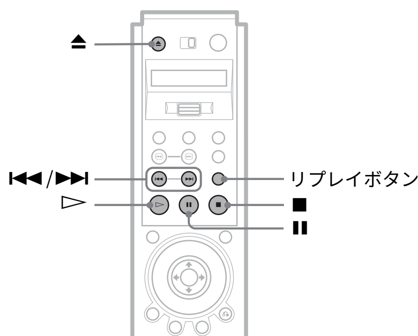
CD やスーパーオーディオ CD をより高音質で再生するには
映像が出力されなくなり、映像のデジタルおよびアナログ回路が音声に与える影響を抑えます。
スクロールキーを使って「VIDEO OFF」を選び、スクロールキーを押して設定します。映像が出力されていないときは、本体の VIDEO OFF ランプが点灯します。

ヒント
ディスクを再生していないときに 30 分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスタンバイモードになります（オートパワーオフ機能）。

ご注意

スーパーオーディオ CD の音声はデジタル出力端子から出力されません。

いろいろな操作方法



こんなときは	こうする
止める	■ を押す
途中で止める	❚❚ を押す
途中で止めたあと、つづきを再生する	❚❚ または ▷ を押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	⏭ を押す、または本体の ⏮/⏭ つまみを右に回す
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	⏮ を押す、または本体の ⏮/⏭ つまみを左に回す
ディスクを取り出す	⏏ を押す
少し前の画像に戻る（DVD ビデオのみ）	リプレイボタンを押す

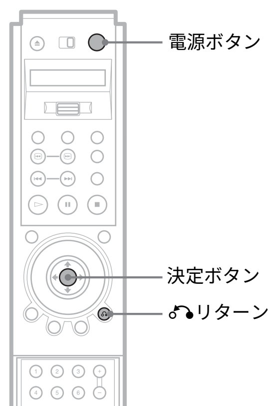
ヒント
リプレイ機能は、セリフを聞き直す時などに使うと便利です。

ご注意

- 再生場面によっては、リプレイ機能が使えないことがあります。
- DVD+RW ではリプレイ機能が使えません。

ディスクトレイをロックする（チャイルドロック）

本体とリモコンの ⏏ ボタンを使えなくすることができます。子供がディスクトレイを誤って開けるのを防ぐときなどに便利です。



スタンバイモード時にリモコンの リターンを押し、続けて決定ボタン、電源ボタンを順に押す。

電源が入り、本体表示窓に「LOCKED」が表示されます。チャイルドロックが働いているときは、本機とリモコンの ⏏ ボタンを使うことができません。

チャイルドロックを解除するには

上の操作を繰り返します。

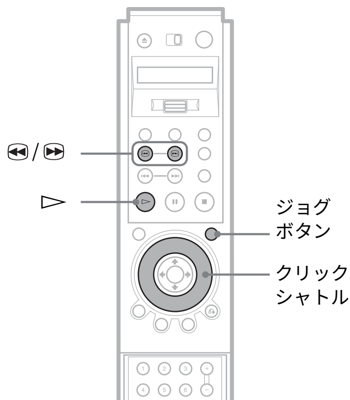
ご注意

コントロールメニューの「設定」で「リセット」（79 ページ）を選んでも、この設定は解除されません。

見たいところ、聞きたいところをさがす

（サーチ / シャトルモード / ジョグモード）

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、スロー再生をすることができます。



ご注意

DVD、ビデオ CD によっては操作が禁止されている場合があります。

見たいところ、聞きたいところをさがす（サーチ）

DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD

再生中に早送り再生するには⏩を、早戻し再生するには⏪を押し続けます。ボタンをはなすと通常の再生に戻ります。

速さを変えて再生する（シャトルモード）

DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD

クリックシャトルを回す。
回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。

◆再生中

早送り 2▶▶（早送り 1▶▶ より速い）
↕
早送り 1▶▶
↕
×2▶（約 2 倍速、DVD ビデオ / スーパーオーディオ CD/CD のみ）
↕
再生 ▶（通常の再生）
↕
×2◀（逆方向：約 2 倍速、DVD ビデオのみ）
↕
早戻し 1◀◀
↕
早戻し 2◀◀（早戻し 1◀◀ より速い）

すばやく回すと早送り 2▶▶ または早戻し 2◀◀ になります。

◆一時停止中（DVD ビデオ／ DVD-RW ／ビデオ CD のみ）

スロー 1▮▶
↕
スロー 2▮▶（スロー 1▮▶ より遅い）
↕
一時停止 ▮▮
↕
スロー 2◀▮ （逆方向：スロー 1◀▮より遅い、DVD のみ）
↕
スロー 1◀▮ （逆方向、DVD のみ）

通常の再生に戻すには

▷ を押します。

速さを変えてコマ送りする（ジョグモード） DVD-V DVD-RW VCD

1 ジョグボタンを押す。
リモコンの液晶表示に「JOG」が表示されます。

2 クリックシャトルを回す。
回す速さに応じて、回した方向でコマ送りされます（時計回しだと再生方向、DVD を再生しているときは反時計回しで逆方向）。

➡ 次のページへつづく

一定以上の速さになると、スローまたは通常の再生になります。

通常の再生に戻すには

▷ を押します。

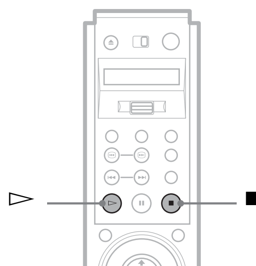
ジョグモードを解除するには

ジョグボタンをもう一度押して、液晶表示の「JOG」を消します。

再生を止めたところから再生する

（つづき再生機能） DVD-V VCD

再生を止めたあと、電源を抜いたり、ディスクを取り出しても、300 枚まで停止した場所を記憶し、そのつづきから再生することができます。301 枚目以降は、1 枚目の停止場所から順に記録を自動的に消去して、新しいディスクの停止場所を記録します。



1 ディスクの再生中、■ を押して、再生を止める。

表示窓に「RESUME」が表示されます。

2 ▷ を押す。

手順 1 で再生を止めたところから、再生が始まります。

💡 ヒント

- ディスクを最初から再生したいときは、■ を 2 回押してから、▷ を押します。
- DVD-RW の VR モードと CD、スーパーオーディオ CD、データ CD は現在再生しているディスクのみつづき再生が働きます（ただし、電源コードを抜いたとき、ディスクトレイを開けたとき、スタンバイモードにしたとき（データ CD のみ）を除く）。

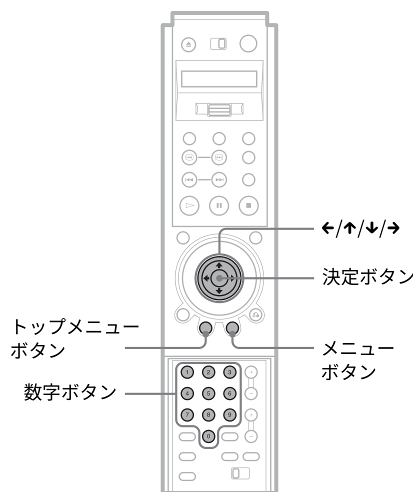
ご注意

- つづき再生機能を使うには、設定画面の「視聴設定」で「つづき再生機能」を「入」（お買い上げ時の設定）にしておく必要があります（83 ページ）。

- 次の場合、現在再生しているディスクについては、つづき再生が解除されます。
  ー 再生モードを変えたとき
  ー 設定画面で設定を変更したとき
- シャッフル再生中とプログラム再生中には、つづき再生機能は働きません。
- ディスクによっては、つづき再生ができない場合があります。

DVD のメニューを使う DVD-V

DVD には、DVD 独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されている DVD はトップメニューボタンを、ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択できる DVD はメニューボタンを使って再生できます。



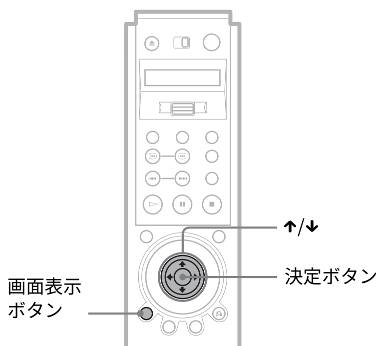
1 トップメニューボタンまたはメニューボタンを押す。
ディスクのメニューが表示されます。メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ←/↑/↓/→ または数字ボタンで項目を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

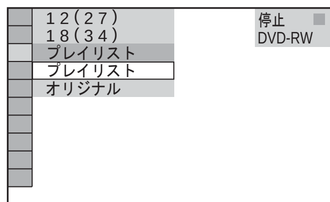
DVD-RW のオリジナルとプレイリストを選ぶ DVD-RW

DVD-RW（VR モード）には、ディスクに実際に記録される「オリジナル」のタイトルと、DVD レコーダー等で編集して作成される「プレイリスト」という 2 種類のタイトルがあります。
このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生することができます。



1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （オリジナル / プレイリスト）を選び、決定ボタンを押す。
「オリジナル / プレイリスト」の設定項目が表示されます。



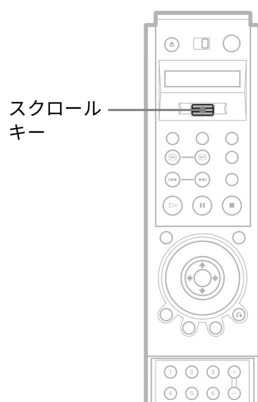
3 ↑/↓ で項目を選ぶ。
- プレイリスト：オリジナルを元に編集して作られたタイトルを再生します。
- オリジナル：実際に記録されているタイトルを再生します。

4 決定ボタンを押す。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを押します。

スーパーオーディオCDの再生のしかたを選ぶ SA-CD

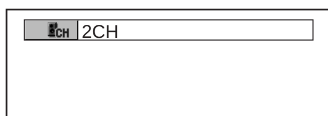


スーパーオーディオ CD の再生エリアを選ぶ

スーパーオーディオ CD に 2 チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアが記録されているときは、どちらかを選んで再生することができます。

1 停止中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「MULTI/2CH」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。
以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、マルチチャンネルエリアのときは「マルチ」を、2 チャンネルエリアのときは「2CH」を選ぶ。
マルチチャンネルエリアのディスクを再生時は、本体の表示窓に「MULTI」が点灯します。

ヒント
コントロールメニューを使ってスーパーオーディオ CD の再生エリア「マルチ /2CH」を選ぶことができます（16 ページ）。

ハイブリッドディスク再生時に再生するレイヤーを選ぶ

スーパーオーディオ CD に、HD レイヤーと CD レイヤーが記録されているときは、どちらかを選んで再生することができます。

1 停止中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「SACD/CD」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。

3 スクロールキーを繰り返し押して、HD レイヤーのときは「SACD」を、CD レイヤーのときは「CD」を選ぶ。
CD レイヤーを再生時は、本体の表示窓の「CD」が点灯します。

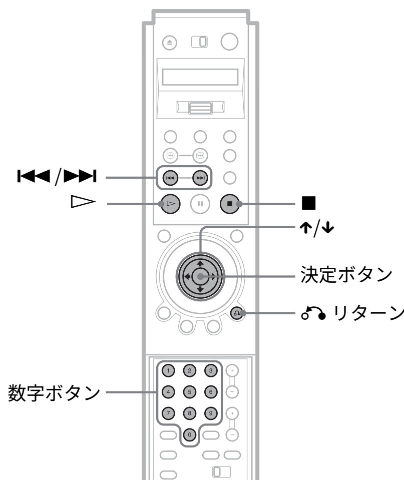
ご注意

- スーパーオーディオ CD について詳しくは、93 ページをご覧ください。
- どの再生モードもここで選んだエリアやレイヤーの範囲内で働きます。

プレイバックコントロール機能を使う

（PBC 再生）VCD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます（Playback Control—PBC 機能）。



1 PBC 対応ビデオ CD を再生する。

選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を ↑/↓ または数字ボタンで選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。

操作の方法はディスクによって異なることがあります。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻るには

リターンを押します。

ヒント

PBC 機能を使わないで再生するときは、停止中、⏮ や ⏭ を押して再生したいトラックを選んでから、▷ または決定ボタンを押します。画面上に「PBC を切って再生します」が表示され、通常の再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

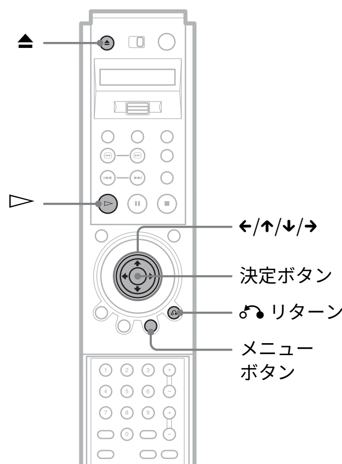
PBC 再生に戻すには、■ を押して再生を止めたあと、もう 1 度 ■ を押してから ▷ を押して再生を始めます。

ご注意

ディスクによっては手順 3 で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、▷ を押してください。

MP3 音声を再生する DATA CD

データ CD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）に記録されている MP3（MPEG 1 Audio Layer 3）音声を再生できます。



1 ≜を押してディスクトレイを開け、データ CD を置く。

2 ▷ を押す。

ディスクトレイが閉まり、最初のアルバムの最初のトラックが再生されます。

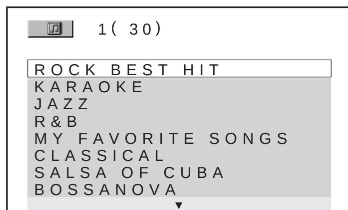
ご注意

- 本機が対応している MP3 音声のサンプリング周波数は、32kHz、44.1kHz、48kHz です。
- 編集したときと違う順序で再生されることがあります。詳しくは、「MP3 音声の再生順序」（46 ページ）をご覧ください。

アルバムおよびトラックを選んで再生する

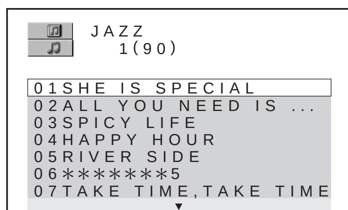
1 メニューボタンを押す。

データ CD に記録されている MP3 音声のアルバムの一覧が表示されます。



2 ↑/↓で再生したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。

アルバムの中に含まれる、トラックの一覧が表示されます。



3 ↑/↓で再生したいトラックを選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。
再生中のトラック／アルバム名は薄暗く表示されます。

次のページまたは前のページを表示するには

→ または ← を押します。

1 つ前の画面に戻るには

リターンを押します。

画面表示を消すには

メニューボタンを押します。

ご注意

- アルバム / トラック名一覧はアルファベットまたは数字のみ表示できます。それ以外の文字は「＊」で表示されます。
- 本機は ID3 タグを表示できません。

→ 次のページへつづく

MP3 音声について

本機は CD-ROM または CD-R/CD-RW ディスク（データ CD）に記録された MP3 音声を再生することができます。
ディスクは ISO9660 のレベル 1/ レベル 2/Joliet 準拠で記録されたものが再生可能です。本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくは CD-R/CD-RW ドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

MP3 音声がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションの MP3 音声も再生します。
音楽用 CD フォーマットまたはビデオ CD フォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

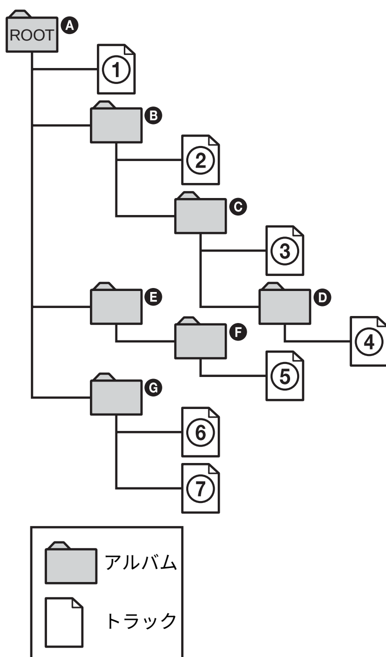
ご注意

- MP3 形式以外のデータに「.MP3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機は MP3PRO で記録された音声には対応していません。

MP3 音声の再生順序

本機がデータ CD に記録されたアルバムやトラック（MP3 音声）を認識する順序は次の図のとおりです。

ディスク内の構造



データ CD を本機に入れて再生ボタンを押すと、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦ の順序でトラックを再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます。（例：C は D を含んでいるので ⑤ より ④ が優先される）

メニューボタンを押したときに表示されるアルバム一覧（45 ページ）では、A→B→C→D→F→G の順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：E）はアルバム一覧に表示されません。

ヒント

- ディスクにトラックを記録するときは、あらかじめトラック名の頭に数字（01、02、03 など）を入れておくと、その数字の順番に再生することができます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにすることをお勧めします。

ご注意

- MP3音声を記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては上図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録されたアルバムとトラックの合計数が999を超える場合は上図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された499番目のアルバムまで本機は認識できます（このときの数え方は、MP3音声を含まないアルバムも数に入れてアルバムのみを数えます）。それより後のアルバムは本機では再生できません。
  また、499番目までのアルバムのうち、アルバムとその中に含まれるトラックは合計で999まで本機で再生できます。

再生モードを使う

（プログラム / シャッフル / リピート / A-B リピート）

再生モードには次の種類があります。

- プログラム再生（47ページ）
- シャッフル再生（49ページ）
- リピート再生（50ページ）
- A-B リピート再生（51ページ）

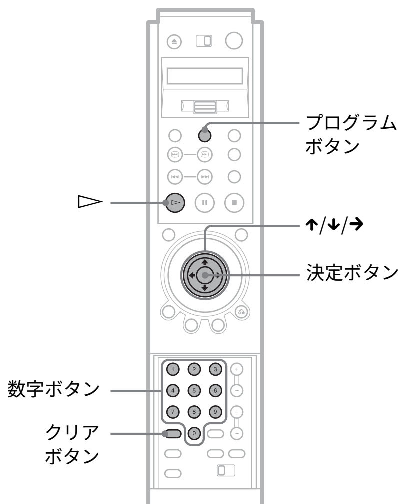
ご注意

設定した再生モードは、次の場合に解除されます。

ーディスクトレイを開いたとき
ー電源ボタンを押して、本機がスタンバイモード（待機状態）になったとき

好きな順に再生する（プログラム再生） DVD-V VCD SA-CD CD

タイトルやチャプター、トラックを好きな順に再生できます。最大99個のタイトルやチャプター、トラックをプログラムできます。

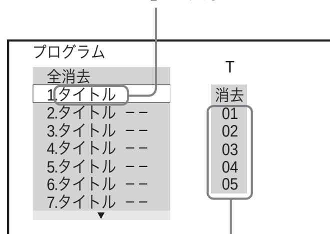


➡ 次のページへつづく

1 プログラムボタンを押す。

プログラム画面が表示されます。

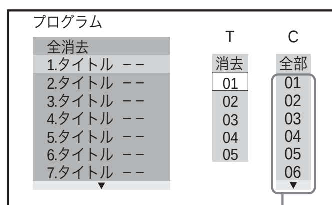
スーパーオーディオ CD/CD/ ビデオ CD
では「トラック」と表示される



ディスクに記録されているタイトルまたは
トラック

2 ➔ を押す。

タイトルまたはトラック（「T」）にハイライトが移ります（この場合「01」）。



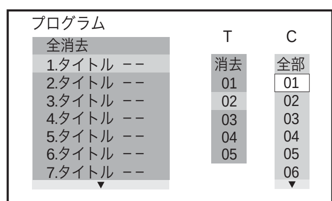
ディスクに記録されているチャプター

3 プログラム再生したいタイトル / チャプターまたはトラックを設定する。

◆ **DVD ビデオのとき**

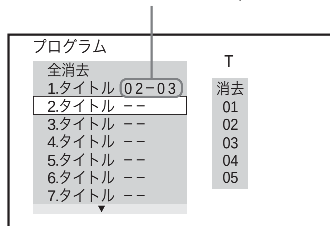
例）タイトル「02」のチャプター「03」を設定する。

↑/↓ または数字ボタンで「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。



次に ↑/↓ または数字ボタンで「C」の「03」を選び、決定ボタンを押します。

設定されたタイトル / チャプター



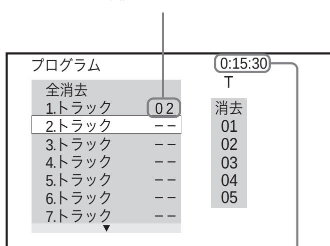
◆ **ビデオCD/スーパーオーディオCD/CD のとき**

例）トラック「02」を設定する。

↑/↓ または数字ボタンで「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。

スーパーオーディオ CD のときは、トラックが 3 桁の数字で表示されます。

設定されたトラック



プログラムしたトラックの総時間

4 続けて再生するタイトル / チャプター / トラックを設定したいときは、手順 2 ～ 3 を繰り返す。

タイトル / チャプター / トラックが選んだ順に表示されます。

5 ▷ を押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生が終わっても、▷ を押せば同じプログラムを再生します。

プログラム再生を止めるには

クリアボタンを押します。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、プログラムボタンを押します。

プログラムの設定を変更または消すには

1 プログラムボタンを押す。

2 ↑/↓ または数字ボタンを使って変更または消したいタイトル、チャプター、トラックのプログラム番号を選び、→ を押す。

3 「好きな順に再生する（プログラム再生）」（47 ページ）の手順 3 の操作で新しい設定を入力する。設定したプログラムを取り消したいときは「T」の「消去」を選び、決定ボタンを押す。

設定したプログラムをすべて消すには

1 プログラムボタンを押す。

2 ↑ を押し「全消去」を選ぶ。

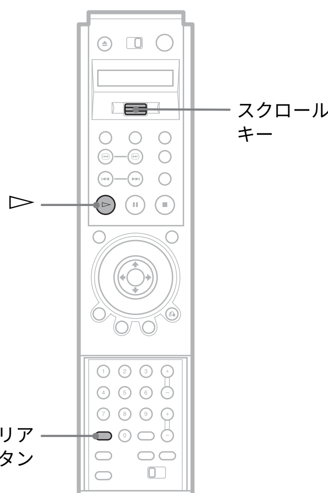
3 決定ボタンを押す。

ヒント
- 設定したプログラムで「リピート再生」（50 ページ）や「シャッフル再生」（49 ページ）もできます。プログラム再生中に「リピート再生」（50 ページ）または「シャッフル再生」（49 ページ）の手順に沿って操作をします。
- コントロールキーを使ってプログラム再生を選ぶことができます（16 ページ）。

順不同に再生する（シャッフル再生）

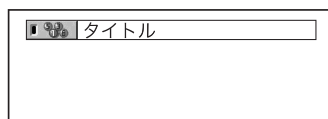
DVD-V VCD SA-CD CD

本機が自動的にタイトルやトラックの順番を選んで、再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。



1 スクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「SHUFFLE」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。
以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、順不同にして再生する項目を選ぶ。

◆ DVD ビデオのとき
- タイトル
- チャプター

◆ ビデオCD/スーパーオーディオCD/CD のとき
- トラック

◆ **プログラム再生しているとき**
- 入：タイトルまたはトラック、チャプターをプログラム番号ごとに順不同にして再生します。

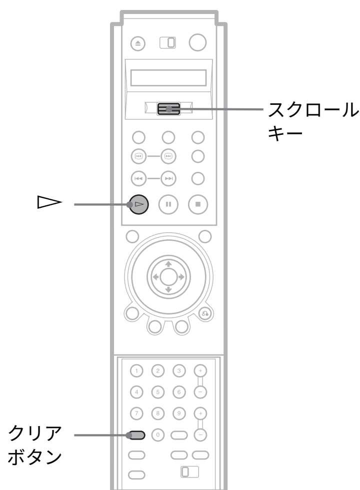
通常の再生に戻すには
手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ヒント
- 停止中にシャッフル再生を設定できます。シャッフルの項目を選び、▷ を押します。シャッフル再生が始まります。
- 「チャプター」を選んだとき、ディスク中の 200 のチャプターまでシャッフル再生できます。
- コントロールメニューを使ってシャッフル再生を選ぶことができます（16 ページ）。

繰り返し再生する（リピート再生）

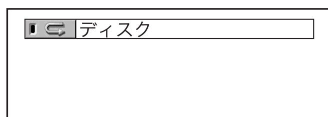
DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または 1 つのタイトル / チャプター / トラックを繰り返し再生できます。
シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせて使うこともできます。



1 スクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「REPEAT」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。
以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、リピート再生する項目を選ぶ。

◆ **DVD ビデオのとき**
- ディスク：すべてのタイトル
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

◆ **DVD-RW のとき**
- ディスク：選んだタイトルの種類（オリジナルまたはプレイリスト）内すべてのタイトル（42 ページ）
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

◆ **ビデオCD/スーパーオーディオCD/CD のとき**
- ディスク：すべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

◆ **データ CD（MP3 音声）のとき**
- ディスク：すべてのトラック
- アルバム：再生中のアルバム内のすべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

◆ **プログラム再生 / シャッフル再生をしているとき**
- 入：プログラム再生、シャッフル再生をリピート再生します。

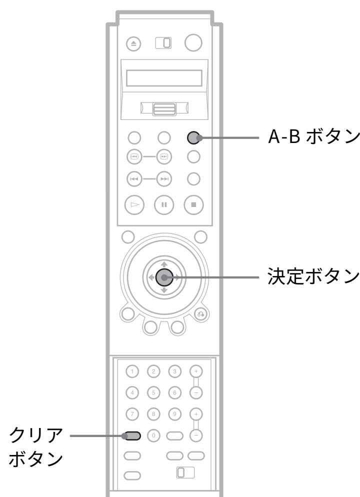
通常の再生に戻すには
手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ヒント
- 停止中にリピート再生を設定できます。リピート再生の項目を選び、▷ を押します。リピート再生が始まります。
- コントロールメニューを使ってリピート再生を選ぶことができます（16 ページ）。

再生したい部分だけを繰り返す（A-B リピート）

DVD-V **DVD-RW** **VCD** **SA-CD** **CD**

再生したい部分を 1 か所指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。



1 再生中に繰り返す部分の始点（A 点）で A-B ボタンを押す。

始点（A 点）が設定されます。

A-Bリピート

B点を［決定］で設定してください

チャプター　タイム
A: 18 – 01 : 32 : 55

2 繰り返す部分の終点（B 点）で決定ボタンまたは A-B ボタンをもう一度押す。

指定した部分が表示され、繰り返して再生されます。

通常の再生に戻すには

クリアボタンを押します。

ヒント

コントロールメニューを使って A-B リピート再生を選ぶことができます（16 ページ）。

ご注意

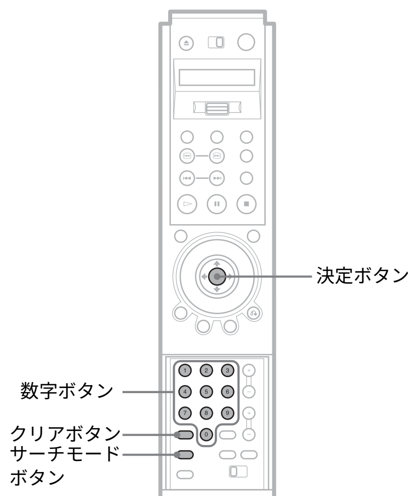
- A-B リピートを設定すると、シャッフル再生やリピート再生、プログラム再生は解除されます。
- DVD-RW（VR モード）で静止画を含むタイトルは A-B リピート再生できません。
- DVD-RW（VR モード）では、複数のタイトルをまたぐ A-B リピート再生はできません。

タイトル / チャプター / トラック / インデックス / シーンをさがす

（サーチモード） DVD-V DVD-RW

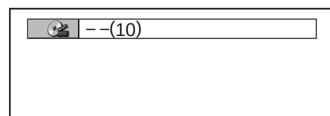
VCD SA-CD CD DATA CD

DVD のタイトル / チャプター / タイトルの経過時間、ビデオ CD やスーパーオーディオ CD、CD、データ CD のトラック / インデックス / シーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます。



1 サーチモードボタンを押す。

以下の画面が表示されます。
アイコンのとなりに「-- (**)」が表示されます（** は数字です）。
カッコ内の数字はディスクに記録されているタイトルやトラック、インデックス、シーンなどの総数です。



2 サーチモードボタンを繰り返し押して、検索項目を選ぶ。

◆ DVD ビデオ /DVD-RW のとき

- タイトル
- チャプター
- 時間 / テキスト
- 時間 / メモ

タイムコードを入力して場面を探すときは、「時間 / テキスト」または「時間 / メモ」を選びます。

◆ ビデオ CD のとき

- トラック
- インデックス

◆ ビデオ CDをPBC再生しているとき

- シーン
- インデックス

◆ スーパーオーディオ CD/CD のとき

- トラック
- インデックス

◆ データ CD（MP3 音声）のとき

- アルバム
- トラック

3 数字ボタンでタイトルやトラック、シーンなどの番号を入力する。

たとえば、タイムコードで始まりから 2 時間 10 分 20 秒過ぎた場面を探すには、手順 2 で「時間 / テキスト」または「時間 / メモ」を選んだあと「21020」と入力します。

間違えたときは

クリアボタンを押して、入れなおします。

4 決定ボタンを押す。

選んだ箇所の再生が始まります。

画面表示を消すには

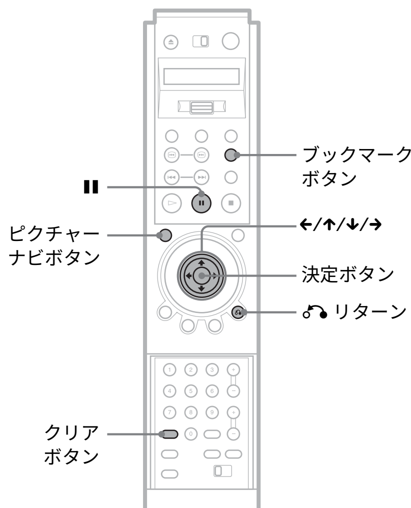
画面表示が消えるまで、サーチモードボタンを押します。

ヒント
- タイトルやチャプター、トラックの最初のシーンを 9 つに分割された画面で表示できます（「見たい場面を再生する（ピクチャーナビゲーション）」）。
- コントロールメニューを使って、タイトルやチャプター、トラック、インデックス、シーン、時間／テキスト（時間／メモ）、アルバムを選ぶことができます（16 ページ）。
- 数字ボタンと ENTER を押してチャプター（DVD ビデオ /DVD-RW）やトラック（スーパーオーディオ CD/CD）を探すこともできます。

ご注意
- DVD-RW（VR モード）では、静止画はサーチできません。
- DVD+RW ではタイムコードで場面をサーチできません。

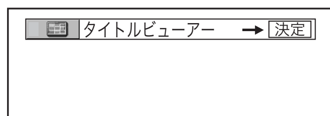
見たい場面を再生する（ピクチャーナビゲーション）

画面を 9 分割して見たい場面を簡単に探すことができます。



1 再生中にピクチャーナビボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ピクチャーナビボタンを繰り返し押して、項目を選ぶ。

それぞれの項目についての詳しくは、各項目での説明をご覧ください。
- タイトルビューアー（DVD ビデオのみ）
- チャプタービューアー（DVD ビデオのみ）
- トラックビューアー（ビデオ CD のみ）
- ブックマーク（DVD ビデオ / ビデオ CD のみ）
- ストロボ再生（DVD ビデオ / ビデオ CD のみ）
- アングルビューアー（DVD ビデオのみ）

→ 次のページへつづく

3 決定ボタンを押す。

通常の再生に戻すには

リターンを押します。

ヒント
コントロールメニューを使ってピクチャーナビゲーションを選ぶことができます（16 ページ）。

ご注意

- ディスクによっては、各機能をお楽しみいただけない場合があります。
- 各ビューアーで一覧表示しているときや、ストロボ再生中は音声が出ません。

タイトルやチャプター、トラックを一覧で見る（タイトルビューアー、チャプタービューアー、トラックビューアー） DVD-V VCD

画面を 9 分割してディスクに含まれる各タイトル、チャプター、トラックの最初の画像を見ることができます。

選んだタイトル、チャプター、トラックから再生することもできます。手順 3 のあと、←/↑/↓/→ で場面を選び、決定ボタンを押します。

ヒント
９つ以上のタイトルやチャプターがあるときは、画面の右下に ▼ が表示されます。一番右下（9 の位置）の場面を選択し、↓ で次のタイトルやチャプターを表示させます。前の画面に戻るには、一番左上（1 の位置）の場面を選択し、↑ を押します。

1	2	3	
4	5	6	
7	8	9	▼

お気に入りの場面を登録する / 選ぶ（ブックマーク） DVD-V VCD

ディスク上の指定した位置をメモリーに登録しておき（ブックマーク）、ブックマークとして登録した場面を一覧で見ることができます。
1 枚のディスクにつき 9 つまで、300 枚までのディスクの位置を登録することができます。
登録した場面から再生することもできます。手順 3 のあと、←/↑/↓/→ で場面を選び、決定ボタンを押します。選んだ場面から再生が始まります。

ブックマークを登録するには

再生中に、ブックマークを登録したい場面でブックマークボタンを押します。

ブックマークを消去するには

ピクチャーナビゲーション機能でブックマークを一覧表示したあと、←/↑/↓/→ でブックマークを解除したい場面を選び、クリアボタンを押します。

登録しているすべてのブックマークを消去するには

設定画面の「視聴設定」の「ブックマークリセット →」を選びます（83 ページ）。

ヒント
選んでいるブックマークの番号が表示窓に表示されます。

ご注意

ディスク 300 枚までブックマークを登録できます。300 枚を超えると、古いブックマークから上書きされます。

連続した 9 つの場面を表示する（ストロボ再生）DVD-V VCD

画面上に連続した 9 つの場面が表示されます。

一時停止するには手順 3 のあと、❚❚ を押します。

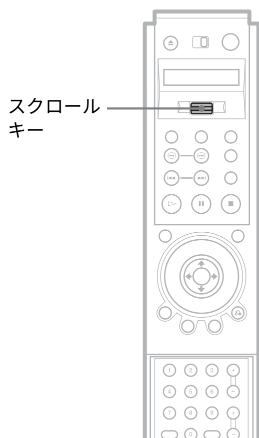
複数のアングルを同時に見る（アングルビューアー）DVD-V

DVD ビデオに同じ場面が複数のアングルで記録されているとき、画面を 9 分割して複数のアングルを同時に見ることができます。

選んだアングル画像だけを表示することもできます。手順 3 のあと、←/↑/↓/→ でアングルを選び、決定ボタンを押します。

経過時間と残り時間を見る DVD-V DVD-RW VCD SA-CD CD DATA CD

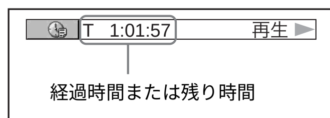
再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。ディスクに記録された DVD やスーパーオーディオ CD、CD のテキストまたは MP3 音声のトラック名を見ることもできます。



1 再生中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「TIME/TEXT」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。

以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、時間表示を切り換える。

表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

◆ DVD ビデオ /DVD-RW のとき

- T ＊：＊：＊（時：分：秒）
  タイトルの経過時間
- T －＊：＊：＊
  タイトルの残り時間
- C ＊：＊：＊
  チャプターの経過時間
- C －＊：＊：＊
  チャプターの残り時間

◆ ビデオ CD を PBC 再生しているとき

- ＊：＊（分：秒）
  シーンの経過時間

◆ ビデオ CD（PBC 再生中以外）/ スーパーオーディオ CD/CD のとき

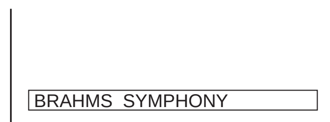
- T ＊：＊（分：秒）
  トラックの経過時間
- T －＊：＊
  トラックの残り時間
- D ＊：＊
  ディスクの経過時間
- D －＊：＊
  ディスクの残り時間

◆ データ CD（MP3 音声）のとき

- ＊：＊（分：秒）
  トラックの経過時間

DVD/ スーパーオーディオ CD/CD テキストまたはトラック / アルバム名（MP3 音声）を見るには

手順 3 で、スクロールキーを繰り返し押します。テキストまたはトラック名がディスクに記録されているときのみ表示されます。テキストを変更することはできません。記録されていないと「NO TEXT」と表示されます。ディスクに名前をつけるには、69 ページをご覧ください。



データ CD の MP3 音声の場合、トラック名とアルバム名を表示できます（59 ページ）。

表示窓で経過時間と残り時間を見るには

表示窓は画面に連動して以下のように切り換わります。

◆ DVD ビデオ /DVD-RW のとき

再生中のタイトル、チャプター番号とタイトルの経過時間

TITLE 1. CHAP 2 HOUR 1:03 MIN 24 SEC

↓

再生中のタイトルの残り時間

TITLE 1. CHAP 2 – 1:15 36

↓

再生中のチャプター番号と経過時間

CHAP 2 0:22:30

↓

再生中のチャプターの残り時間

CHAP 2 – 0:13 20

↓

テキスト

SONY HITS/S

◆ビデオ CD（PBC 再生時以外）/ スーパーオーディオ CD/CD のとき

再生中のトラック、インデックス番号とトラックの経過時間

TRACK 2. INDEX 1 2:25

↓

再生中のトラックの残り時間

TRACK 2. INDEX 1 – 1:50

↓

ディスクの経過時間

32:12

↓

ディスク全体の残り時間

– 20:18

↓

テキスト

SONY HITS/S

◆データ CD（MP3 音声）のとき

再生中のアルバム、トラック番号とトラックの経過時間

10 21 2:25

↓

トラック名

01HAPPY BIRT

ヒント

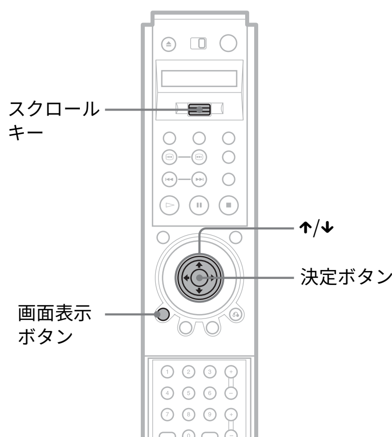
- ビデオ CD で PBC 再生しているときは、シーン番号と経過時間が表示されます。
- 1 行で表示しきれないテキストまたはトラック名（MP3 音声）は、表示窓にスクロールして表示されます。
- コントロールメニューを使って経過時間と残り時間を見ることができます（16 ページ）。

ご注意

- ディスクの種類によってはテキスト表示できないことがあります。
- 本機はディスクのテキストの最初の部分（タイトル名など）のみ表示できます。
- MP3 音声のトラックの経過時間は正確に表示されない場合があります。

再生の情報を見る

ビットレートや、ディスクのレイヤーおよび光ピックアップの位置情報を見ることができます。



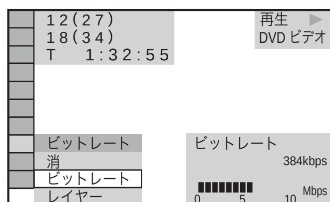
DVD の再生情報を見る（アドバンスト） DVD-V DVD-RW

1 再生中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示します。

2 ↑/↓ で（アドバンスト）を選び、決定ボタンを押す。

「アドバンスト」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で表示したい項目を選ぶ。

それぞれの項目については、次の「再生の情報画面について」をご覧ください。

- ビットレート：ビットレートを表示する。
- レイヤー：レイヤーおよび光ピックアップのおよその位置を表示する。

4 決定ボタンを押す。

アドバンスト画面を消すには

手順 3 で「消」を選びます。

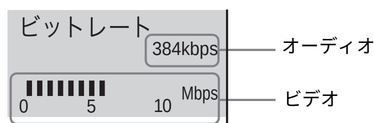
画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを押します。

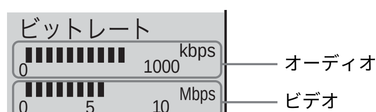
再生の情報画面について

画面表示ボタンを繰り返し押すと、「アドバンスト」で選んだ「ビットレート」または「レイヤー」が表示されます。

◆ビットレート

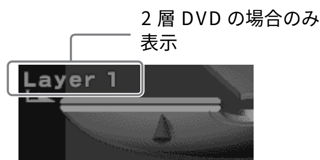


MPEG オーディオ音声を再生中



ビットレートは DVD に圧縮して記録されている画像や音声の、1 秒あたりのおよその情報量を示す値です。画像の場合、単位は Mbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1.000.000ビットであることを表します。音声の場合、単位は kbps（kilo bit per second）です。この値が大きいほど画像や音声の情報量は多くなりますが、必ずしも画質や音質とは直接関係しません。

◆レイヤー



再生中、光ピックアップのおよその位置を示します。
2 層の DVD ではどちらの層（レイヤー）が読まれているかも示します（「Layer 0」または「Layer 1」）。
層（レイヤー）について詳しくは、96 ページの「DVD ビデオ」の項目をご覧ください。

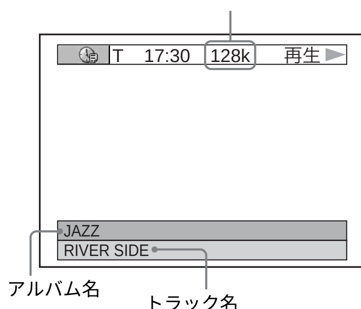
データ CD の再生情報を見る

DATA CD

再生中の音声のビットレート（1 秒あたりの情報量）をテレビ画面に表示することができます。

1 データ CD の MP3 音声再生中に、スクロールキーを動かして、液晶画面に「TIME/TEXT」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押して、液晶画面に を表示させる。
ビットレートが表示します。

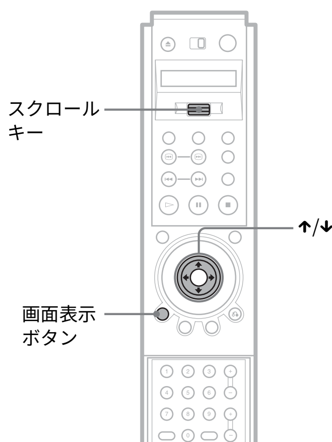


音声を切り換える

DVD-V　DVD-RW　VCD　CD

DATA CD

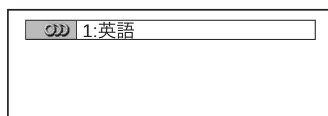
複数の音声記録方式（ドルビーデジタル、DTS、MPEG オーディオ、PCM など）で記録された DVD ビデオを再生しているときに、音声記録方式を選ぶことができます。複数の音声の言語が記録された DVD ビデオでは、言語を選ぶこともできます。また、CD やデータ CD、ビデオ CD 再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオ CD などで、伴奏だけを聞くこともできます。



1 再生中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「AUDIO」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。

以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、音声を選ぶ。

◆ DVD ビデオのとき

選べる言語は DVD ビデオによって異なります。

4 桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（98 ページ）を参照してください。同じ言語が 2 個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

◆ DVD-RW のとき

録音された音声トラックが表示されます。お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

例：
- 1：主（主音声）
- 1：副（副音声）
- 1：主（主音声）+ 副（副音声）

◆ ビデオ CD/CD/ データ CD のとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
- ステレオ：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

ヒント

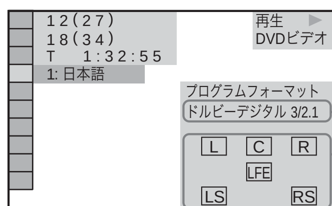
コントロールメニューを使って音声を選ぶことができます（16 ページ）。

ご注意

スーパーオーディオ CD の音声は切り換えることができません。

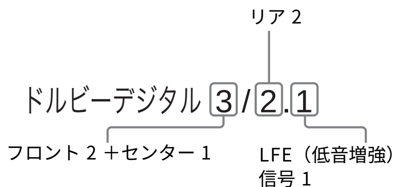
再生しているチャンネルを表示する DVD-V

再生中に画面表示ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示します。↑/↓で「音声」を選ぶと、現在再生中の DVD ビデオに記録されているチャンネル数を表示することができます。



*「PCM」または「DTS」、「MPEG」、「ドルビーデジタル」が表示されます。
「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが次のように数字で表示されます。

ドルビーデジタル 5.1ch の場合：



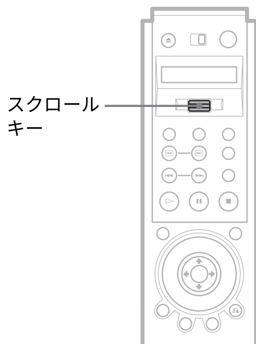
**各記号は次のチャンネルを表しています。
L：フロント（左）
R：フロント（右）
C：センター（モノラル）
LS：リア（左）
RS：リア（右）
S：リア（モノラル）：ドルビーサラウンド処理された信号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。
LFE：LFE（Low Frequency Effect：低音増強）信号

ヒント
ドルビーデジタルや DTS のディスク再生中に、LFE（低音増強）信号出力がない場合、「LFE」は点線で表示されます。

サラウンドを楽しむ

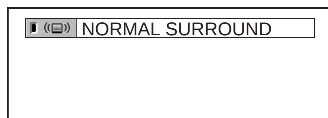
DVD-V　DVD-RW　VCD　CD
DATA CD

ドルビーサラウンド（プロロジック）方式で記録されたディスクを再生するときに、サラウンド音声を楽しむことができます。
4 台以上のスピーカーを使い、「スピーカー設定」の「大きさ」の「リア」で「なし」以外の設定を選んでください。



1 再生中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「SURROUND」を表示させる。

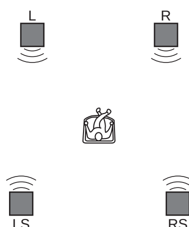
2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。
以下の画面が表示されます。



➡ 次のページへつづく

3 スクロールキーを繰り返し押して、サラウンド効果を選ぶ。

- NORMAL SURROUND：2 チャンネルのサラウンド音声信号のディスクでは、サラウンド効果を再現するためにドルビープロロジック処理されます。リアスピーカーは同一のモノラル音声を出力し、センタースピーカーを使っているときは、センタースピーカーに合うようにドルビープロロジック処理された音声が出力されます。
- ENHANCED SURROUND：プロロジック処理されたモノラル音声をステレオ感のあるリア音声にすることで、臨場感が増します。



L：フロントスピーカー（L）
R：フロントスピーカー（R）
LS：リアスピーカー（L）
RS：リアスピーカー（R）

設定を解除するには

手順 3 で「切」を選びます。

ヒント

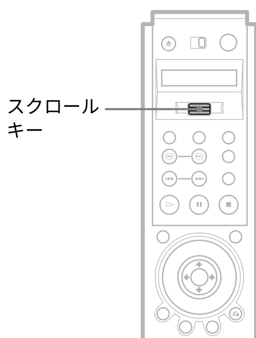
コントロールメニューを使ってサラウンドを選ぶことができます（16 ページ）。

ご注意

- 「ドルビーデジタル」の設定を「ドルビーデジタル」に、または「DTS」の設定を「DTS」に、「MPEG」の設定を「MPEG」にした場合、DIGITAL OUT OPTICAL または COAXIAL 端子から音声は出力されますが、サラウンド効果はありません。
- DIGITAL OUT OPTICAL または COAXIAL 端子を使ってアンプとつないでいる場合は、CD 再生時にサラウンド効果はありません。

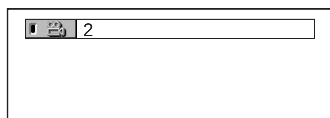
アングルを切り換える DVD-V

複数のアングルがディスクに記録されているとき、正面から見た景色を右から見た景色に切り換えるなど、好きなアングルを選ぶことができます。
アングルを変えられるときは、表示窓に「ANGLE」が点灯します。



1 再生中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「ANGLE」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。
以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、アングル番号を選ぶ。
選んだアングルに切り換わります。

ヒント
- 同じ場面が複数のアングルで記録されているとき、画面を 9 分割して複数のアングルを同時に表示できます。また、選んだアングル画像から直接再生を始めることもできます（55 ページ）。
- コントロールメニューを使ってアングルを選ぶことができます（16 ページ）。

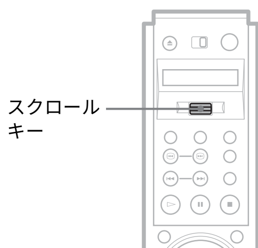
ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する

DVD-V　DVD-RW

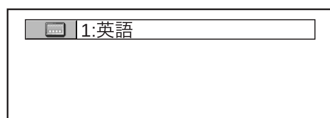
字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。



1 再生中にスクロールキーを上下に動かし、液晶画面に「SUBTITLE」を表示させる。

2 リモコンを本機に向けて、スクロールキーを押す。

以下の画面が表示されます。



3 スクロールキーを繰り返し押して、言語を選ぶ。

◆ DVD ビデオのとき

選べる言語はディスクによって異なります。

4 桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（98 ページ）を参照してください。

◆ DVD-RW のとき

「入」を選びます。

字幕設定を解除するには

手順 3 で「切」を選びます。

ヒント

コントロールメニューを使って字幕を選ぶことができます（16 ページ）。

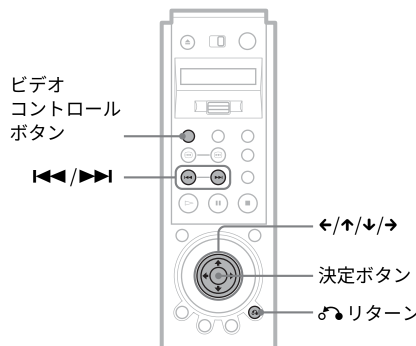
ご注意

ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

画質を調整する（ビデオコントロール）

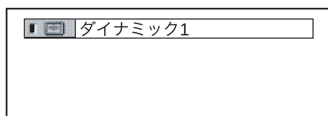
DVD-V　DVD-RW　VCD

本機から出力する DVD やビデオ CD の映像信号を調整し、お好みの画質を設定できます。
ソフトに合わせて既存のビデオコントロール設定から選べますが、「メモリー」を選ぶと色や明るさなどの画質の各項目を個別に調整できます。どちらの場合にも固定された１セットの画質調整項目が、ディスクごとに作成されます。
「視聴設定」の「プレイバックメモリー」が「入」に設定されていると（お買い上げ時の設定）、ディスク 300 枚分のビデオコントロール設定が本機のメモリーに残り、同じディスクを再生するたびに自動的に適用されます。301 枚目のビデオコントロール設定を保存すると、1 枚目の設定が取り消されます。



1 再生中にビデオコントロールボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ビデオコントロールボタンを繰り返し押して、画質の設定を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

- スタンダード：標準的な画質
- ダイナミック 1：コントラストの強いメリハリのある画質
- ダイナミック 2：ダイナミック 1 よりコントラストの強いメリハリのある画質
- シネマ 1：黒色を強調して暗い部分の詳細を際立たせる
- シネマ 2：白色をより明るく、黒色をより強調して、色あいのコントラストをつける
- メモリー：画質を項目ごとにより細かく調整する

ヒント
- 映画を見るときは、「シネマ 1」または「シネマ 2」をお勧めします。
- コントロールメニューを使ってビデオコントロールを選ぶことができます（16 ページ）。

ご注意

DVD-RW（VR モード）では、ディスクトレイを開けたり本機をスタンバイモードにすると、ビデオコントロール設定は解除されます。

画質を項目ごとに調整する（メモリー）

次の項目を個々に調整できます。
- DVE（デジタルビデオエンハンサー）：
  画像の輪郭を強調したり、ソフトにみせる。（「ソフト」は DVD のみ）
- BNR（ブロックノイズリダクション）：
  画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減する。
- Y NR：
  映像信号中の輝度成分に含まれるノイズを低減する。
- C NR：
  映像信号中の色成分に含まれるノイズを低減する。
- クロマディレイ：
  映像中の色が水平方向にずれている場合に、ずれを調整する。

➡ 次のページへつづく

• AV　アライメント：
画像と音声のずれを調整する。
• プログレッシブ 1：
本機がプログレッシブ方式への変換方法を決定する切り換えポイントを設定する。「画面設定」の「コンポーネント出力」が「プログレッシブ」に設定されていると、ディスクがビデオ素材かフィルム素材かを本機が自動的に検知し、素材に合わせた方法でプログレッシブ信号に変換します。設定位置が「VIDEO」に近いとビデオ素材用の、「FILM」に近いとフィルム素材用の変換方法が選ばれやすくなります。完全に「VIDEO」に合っていると素材に関係なく常にビデオ素材用の変換方法が選ばれます。ビデオ素材とフィルム素材について詳しくは「用語解説」をご覧ください(93 ページ)。
• プログレッシブ 2：
ビデオ素材用の変換方法で処理される場合プログレッシブ信号を調整する。風景などの静止画が多いソフトなら「STILL」側に、カーチェイスなどのダイナミックな動画が多いなら「MOVE」側に設定します。
• ピクチャー：
コントラストを調整する。
• 明るさ：
全体の明るさを調整する。
• 色の濃さ：
色をより濃く、またはより明るく調整する。
• 色あい：
色のバランスを調整する。
• ガンマ：
選んだ部分の明るさを調整する。「選択部分の明るさを調整する（ガンマ補正）」（67 ページ）をご覧ください。

1 ビデオコントロールボタンを繰り返し押して「メモリー」を選び、決定ボタンを押す。
「DVE」調整画面が表示されます。

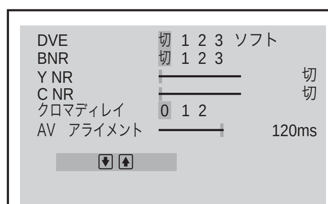
DVE　切　1　2　3　ソフト

2 ←/→ で調整し、決定ボタンを押す。
設定内容が保存されます。
「BNR」調整画面が表示されます。

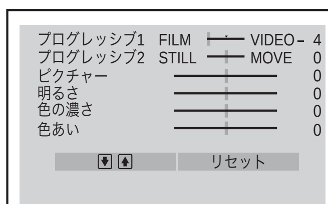
3 手順 2 を繰り返し、「BNR」や他の項目をそれぞれ調整する。

4 「ガンマ →」が表示されたら、↓ を押す。
ビデオコントロール画面 1 が表示されます。画面 2 を表示するには、もう一度 ↓ ボタンを押します。
全ての設定（ガンマ以外）の確認ができます。

ビデオコントロール画面 1



ビデオコントロール画面 2



画面表示を消すには

リターンを押します。

ヒント

• 調整した全ての項目をお買い上げ時の状態に戻すには、手順 4 の画面 2 で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
• 手順2で調整した内容を設定したくないときは、↑/↓ で内容を保存せずに次の画質調整項目に切り換えることができます。
• テレビドラマ、テレビアニメ、ライブソフトなどのビデオ素材の再生には、ビデオ処理が適しています。映画などのフィルム素材の再生には、フィルム処理が適しています。

ご注意

- 「BNR」設定で画像の輪郭がぼやけるときは「切」を選んでください。
- ディスクの種類や再生している場面によっては、BNR、YNR または CNR の効果がわかりにくいことがあります。
- ディスクや再生している場面によっては、ディスク上のノイズがより目立つことがあります。この場合は、BNR と DVE を一緒にご使用になることをおすすめします。それでも改善されない場合は、DVE のレベルを下げるか、「ソフト」を選んでください（DVD のみ）。
- DVD にはビデオ素材とフィルム素材の両方が入っている物があります。
  フィルム素材の映画とビデオ素材の「メイキング」が 1 枚のディスクに入っている場合などです。
- 「メモリー」の「プログレッシブ 1」または「プログレッシブ 2」が設定されているときでも、プログレッシブ映像の画質が不自然になったりする場合、「プログレッシブ 1」を「VIDEO」に設定してみてください。
  それでも改善されない場合には、ビデオ信号をインターレース方式に切り換えて COMPONENT VIDEO OUT 端子から出力するか、（81 ページ）他の端子から出力してください。
- 「メモリー」で設定した「DVE」や「BNR」の値は、「スタンダード」、「ダイナミック 1」、「ダイナミック 2」、「シネマ 1」、「シネマ 2」を選択した場合も有効です。

選択部分の明るさを調整する（ガンマ補正）

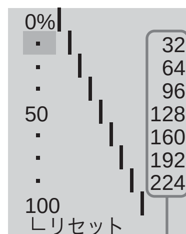
テレビや視聴環境によっては映像の一部が明るすぎて輪郭がぼやけたり、暗すぎて周囲の暗い部分に溶け込んだりすることがあります。ガンマ補正ではそれらの部分の明るさを調整して、より見やすい映像にすることができます。「明るさ」では映像全体の明るさが調整できますが、「ガンマ」は部分的に明るさを調整したいときに便利です。

例：陰影に富んだシーンが多い映画で、風景の隠れた細部を見たい場合

「明るさ」で調整すると映像全体が明るくなり、元から明るい部分の輪郭がぼやけてしまいます。「ガンマ」では暗い部分を選択して、全体の陰影を損なうことなく、その部分だけを徐々に明るくすることができます。

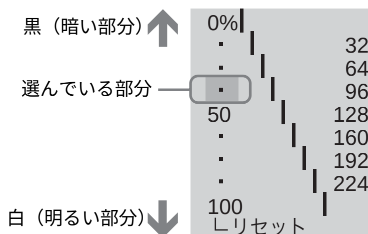
1 「画質を項目ごとに調整する」の手順 3 で ↑/↓ で「ガンマ」調整画面を表示させ、決定ボタンまたは → を押す。

ガンマ補正画面が表示されます。



2 ↑/↓ で調整したい明るさの部分を選ぶ。

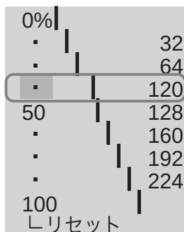
上方向が暗い部分、下方向が明るい部分になります。



3 ←/→ で選んだ明るさの部分のレベルを調整する。

← を押すとレベルが下がり（暗くなり）、→ を押すとレベルが上がり（明るくなり）ます。

16 ～ 235 の値で設定できます。暗い部分がそれより明るい部分を超えるような設定はできません。

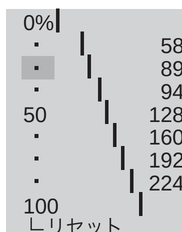


→ 次のページへつづく

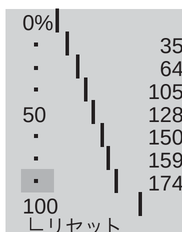
4 手順２と３を繰り返して、明るさの部分のレベルを調整する。

明るさごとのレベルをつないだ線は、できるだけなだらかな曲線になるように調整します。

暗い部分を明るくするための例



明るい部分を暗くするための例



極端な凹凸が出るように調整すると、映像が乱れて表示されるように感じる原因となります。画面で映像を見ながら、少しずつ値を調整してください。

調整を途中でやめたいときは、リターンを押します。

5 決定ボタンを押す。

設定内容が保存され、「ガンマ」調整画面が表示されます。

ガンマ補正だけをお買い上げ時の設定に戻すには

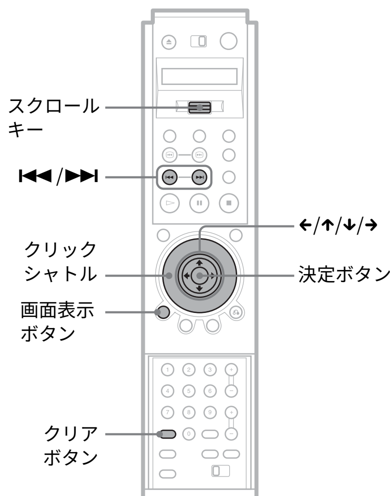
ガンマ補正画面で↑/↓で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

ヒント

⏮/⏭ボタンを押して、ガンマ補正画面の位置を左右に移動させることができます。

ディスクに名前をつける DVD-V VCD SA-CD CD

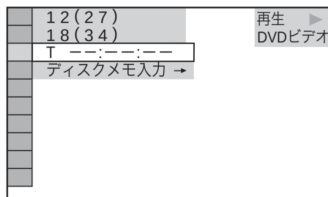
テキストが記録されていないディスクであれば、ディスクに名前をつけることができます。ディスクメモはそれぞれのディスクに20文字まで入力できます。
記録したディスクメモはディスクを取り出しても記録されています。ディスクメモは、タイトルや、ミュージシャンの名前、カテゴリー、購入日時など好きなものを記録できます。



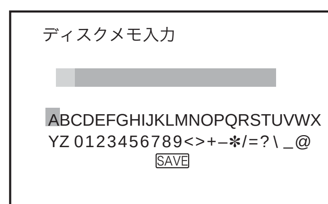
1 名前を付けたいディスクを入れる。

2 画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓で（時間/メモ）を選び、決定ボタンを押す。
「ディスクメモ入力 →」が表示されます。



4 ↓を押して「ディスクメモ入力 →」を選び、決定ボタンを押す。
ディスクメモ入力画面が表示されます。



5 ←/↑/↓/→を押すか、クリックシャトルを回して文字を選ぶ。
選んだ文字の色が変わります。

6 決定ボタンを押す。



7 手順5と6を繰り返して文字を入力する。

8 すべての文字を入力したら、←/↑/↓/→を押して「SAVE」を選び、決定ボタンを押す。
ディスクメモが記録されます。

→ 次のページへつづく

画面表示を消すには

リターンを押します。

文字を修正するには

1 ⏮/⏭を押して、文字を挿入したい箇所、または修正したい文字にカーソルをあわせる。

2 クリアボタンを押す。

文字を挿入したり上書きするには

1 ⏮/⏭を押して、修正したい文字にカーソルをあわせる。

2 ←/↑/↓/→を押すか、クリックシャトルを回して文字を選ぶ。

3 **文字を挿入するには、**決定ボタンを押す。
文字を上書きするには、⏮/⏭を押す。

ディスクメモを確認するには

スクロールキーを使って「TIME/TEXT」を選び、リモコンを本機に向けてスクロールキーを押します。スクロールキーを繰り返し押し、ディスクメモを表示させます。

ご注意

ディスク 300 枚までディスクメモを記録することができます。300 枚を超えると、古いディスクから上書きされます。

ディスクの再生を制限する（カスタム視聴制限、視聴制限）

本機には、ディスクの再生を制限する次の 2 種類の機能があります。

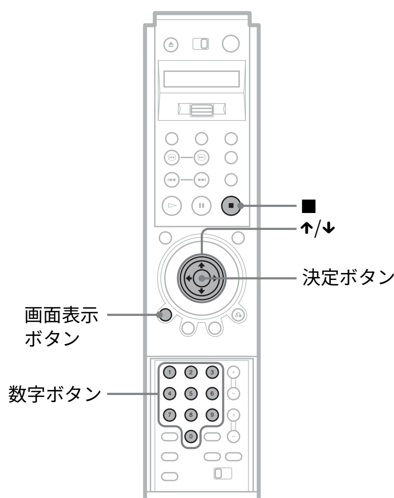
- カスタム視聴制限
  本機で特定のディスクを再生できないようにする。
- 視聴制限
  視聴制限つき DVD ビデオの再生できるシーンを制限する。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し替えて再生します。

カスタム視聴制限も視聴制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。

カスタム視聴制限―設定する

DVD-V VCD SA-CD CD

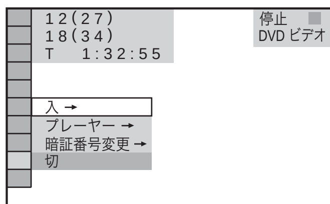
登録した暗証番号を使って、300 枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。301 枚目のディスクを設定すると、1 番最初に設定したディスクの制限が解除されます。



1 設定したいディスクを入れる。
ディスクを再生しているときは、■ を押して再生を止めます。

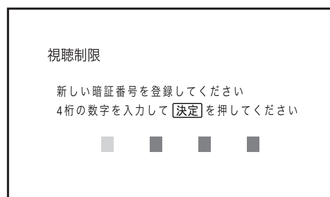
2 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓ で （視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



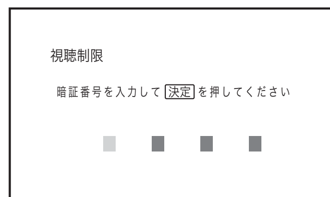
4 ↑/↓ で「入 →」を選び、決定ボタンを押す。

◆ **暗証番号が登録されていないとき**
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が出ます。

◆ **暗証番号がすでに登録されているとき**
暗証番号入力の画面が出ます。



5 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
「カスタム視聴制限を設定しました」と表示され、コントロールメニュー画面に戻ります。

カスタム視聴制限を解除するには

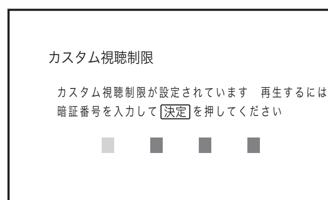
1 「カスタム視聴制限―設定する」の手順 1 ～ 3 を繰り返す。

2 ↑/↓ で「切 →」を選び、決定ボタンを押す。

3 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

カスタム視聴制限―再生する

1 カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる。
「カスタム視聴制限」の画面が表示されます。



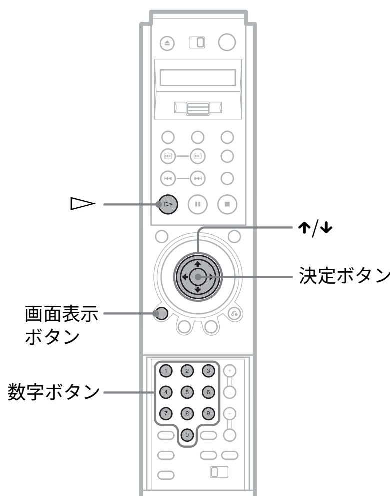
2 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生できる状態になります。

ヒント
暗証番号を忘れてしまったときは、「カスタム視聴制限」画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6 桁の数字「199703」を数字ボタンで入力します。画面に、新しい 4 桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

視聴制限―設定する DVD-V

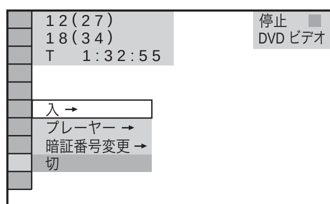
DVD ビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

→ 次のページへつづく



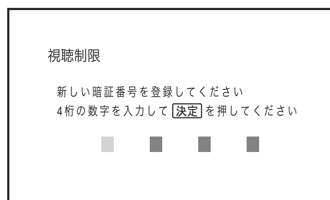
1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



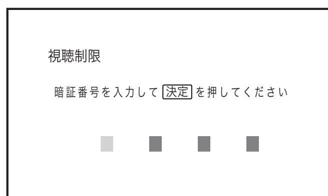
3 ↑/↓ で「プレーヤー →」を選び、決定ボタンを押す。

◆ 暗証番号が登録されていないとき
暗証番号登録の画面が表示されます。

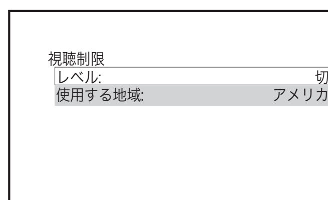


数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
暗証番号確認の画面が出ます。

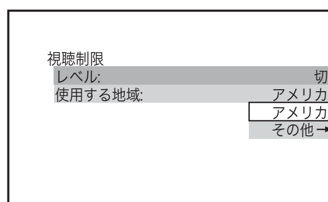
◆ 暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号入力の画面が出ます。



4 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
視聴制限のレベル設定変更の画面が表示されます。

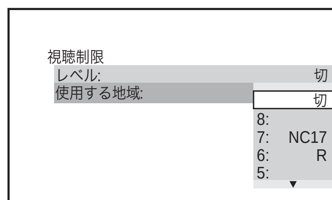


5 ↑/↓ で「使用する地域」を選び、決定ボタンを押す。
「使用する地域」の選択項目が表示されます。

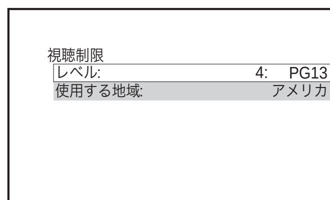


6 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す。
地域が選ばれます。
「その他 →」を選んだときは、73 ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

7 ↑/↓ で「レベル」を選び、決定ボタンを押す。
「レベル」の選択項目が表示されます。



8 ↑/↓で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。
視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。



視聴制限を解除するときは

手順 8 で「レベル」を「切」にします。

視聴制限―再生する

1 ディスクを入れて、▷を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

💡 ヒント
登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴制限―設定する」の手順 1 ～ 3 にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6 桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して、決定ボタンを押します。画面に新しい 4 桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。
新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、▷を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入力します。

ご注意

- 視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生が解除されたときに、設定したもとのレベルに戻ります。

◆地域コード

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044	チリ	2090
イギリス	2184	デンマーク	2115
イタリア	2254	ドイツ	2109
インド	2248	日本	2276
インドネシア	2238	ニュージーランド	2390
オーストラリア	2047	ノルウェー	2379
オーストリア	2046	パキスタン	2427
オランダ	2376	フィリピン	2424
カナダ	2079	フィンランド	2165
韓国	2304	ブラジル	2070
シンガポール	2501	フランス	2174
スイス	2086	ベルギー	2057
スウェーデン	2499	ポルトガル	2436
スペイン	2149	マレーシア	2363
タイ	2528	メキシコ	2362
中国	2092	ロシア	2489

暗証番号を変更するには

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓で［🔒］（視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓で「暗証番号変更 →」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号入力の画面が表示されます。

4 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

5 数字ボタンで新しい 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

6 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

➡ 次のページへつづく

暗証番号を間違えたときは

決定ボタンを押す前に、← を押して入力しなおします。

間違えたときは

↶ リターンを押します。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで画面表示ボタンを押します。

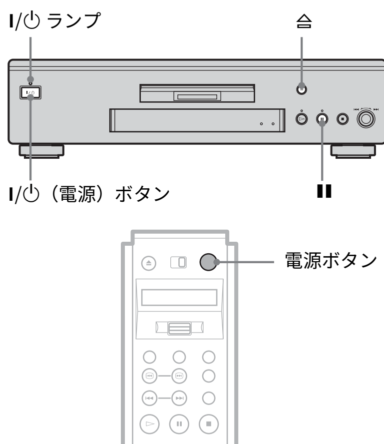
操作音を鳴らす

(お知らせビープ)

次のような操作をしたときに、操作音を鳴らすことができます。
お買い上げ時は操作音が鳴らないように設定されています。

操作	操作音
電源を入れたとき	「ピッ」
電源を切ったとき	「ピピッ」
▷ を押したとき	「ピッ」
❚❚ を押したとき	「ピピッ」
再生が止まったとき	「ピーッ」
禁止されている操作をしたとき	「ピピピッ」

お知らせビープ機能を設定する



1 本体の I/⏻（電源）ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す。
I/⏻ ランプが緑に点灯します。
ディスクがディスクトレイに入っているときは、≜ を押してディスクを取り除いたあと、ディスクトレイを閉じてください。

2 本体の ❚❚ を 2 秒以上押す。
「ピッ」と操作音が鳴って、お知らせビープ機能が設定されます。

お知らせビープ機能を解除するには

ディスクが入っていないときに、本体の ❚❚ を 2 秒以上押します。「ピピッ」と操作音が鳴って、お知らせビープ機能が解除されます。

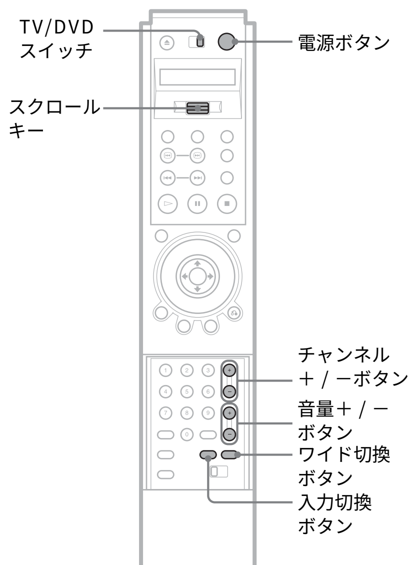
付属のリモコンでテレビやアンプを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビの音量や電源などを操作できます。
また、AV アンプに本機をつないでいるときは、本機のリモコンでアンプの音量を調整することもできます。

ご注意

- テレビや AV アンプによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度入力し直してください。

リモコンで各社のテレビを操作する



いろいろな機能を使う

➡ 次のページへつづく

1. TV/DVD スイッチを「TV」にする。
2. リモコンの電源ボタンを押したまま、スクロールキーを押す。
   液晶部分に「TV P-1」と表示され、メーカー設定できる状態になります。
3. 電源ボタンをはなす。
4. スクロールキーを上下に動かして、メーカー番号を選ぶ。
5. 設定したい番号を選んだら、スクロールキーを押す。
   メーカー番号が点滅し、設定されました。
   TV/DVD スイッチを「TV」にすると、以下のボタンを使ってテレビの操作ができるようになります。

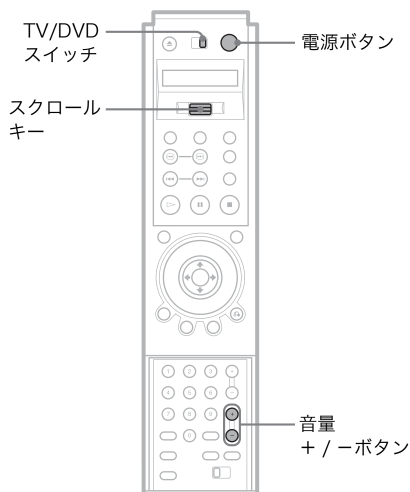
押すボタン	できること
電源	テレビの電源を入 / 切する
音量＋ / －	テレビの音量を調整する
チャンネル＋ / －	テレビのチャンネルを切り換える
ワイド切換	テレビのワイドモードを切り換える
入力切換	テレビの入力を切り換える

メーカー番号

メーカー番号が 2 つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号をお選びください。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	1（お買い上げ時の設定)、12
アイワ	17
NEC	9
三星電子（SAMSUNG）	18
三洋電機	7、15
シャープ	8、16
東芝	3
日本ビクター	6
パイオニア	10
日立製作所	4
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
松下電器	2、13
三菱電機	5

AV アンプの音量を操作する



1 **TV/DVD スイッチを「DVD」にする。**

2 **リモコンの電源ボタンを押したまま、スクロールキーを押す。**
液晶部分に「AV P-90」と表示され、メーカー設定できる状態になります。

3 **電源ボタンをはなす。**

4 **スクロールキーを上下に動かして、メーカー番号を選ぶ。**

5 **設定したい番号を選んだら、スクロールキーを押す。**
メーカー番号が点滅し、設定が完了しました。
音量＋ / －ボタンで AV アンプの音量を調整できるようになります。

◆ テレビの音量を調整するには
TV/DVD スイッチを「TV」にしてから操作します。

メーカー番号

メーカー番号が 2 つ以上あるときは、順に試して AV アンプが操作できるものをお選びください。

AV アンプのメーカー	メーカー番号
ソニー	80、88、89、91
オンキョー	81、82、83
ケンウッド	92、93
山水電気	87
デノン	84、85、86
パイオニア	99
松下電器	97、98
ヤマハ	94、95、96

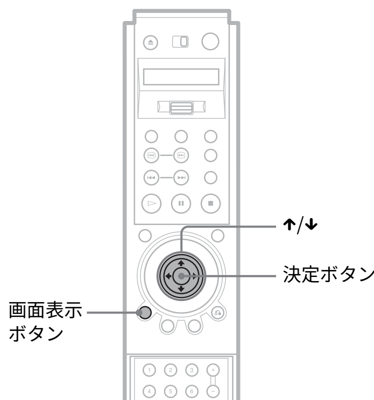
ヒント
90（お買い上げ時の設定）に設定すると TV/DVD スイッチが「DVD」のときでもテレビの音量を調整することができます。

設定画面を使う

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVD の字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目について詳しくは、79 ～ 86 ページをご覧ください。

ご注意

あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。

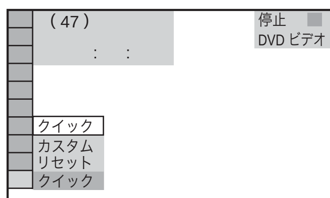


1 停止中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （設定）を選び、決定ボタンを押す。

「設定」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「カスタム」を選び、決定ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

言語設定	
画面表示言語:	日本語
メニュー言語:	日本語
音声言語:	オリジナル
字幕言語:	日本語

4 ↑/↓ で「言語設定」「画面設定」「視聴設定」「オーディオ設定」「スピーカー設定」の中から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

選択した項目の画面が表示されます。

例：「画面設定」

選択した項目

項目

画面設定	
TVタイプ:	16:9
スクリーンセーバー:	入
背景画面:	ジャケットピクチャー
黒レベルセットアップ:	切
黒レベルセットアップ (コンポーネント出力):	切
コンポーネント出力:	インターレース
4:3 出力:	フル

5 ↑/↓ でさらに設定項目を選び、決定ボタンを押す。

設定項目の内容が一覧表示されます。

例：「TV タイプ」の設定内容

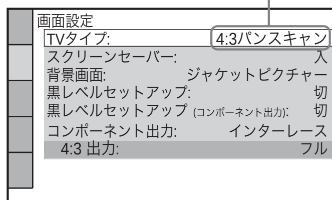
画面設定	
TVタイプ:	16:9
スクリーンセーバー:	16:9
背景画面:	4:3 レターボックス
黒レベルセットアップ:	4:3 パンスキャン
黒レベルセットアップ (コンポーネント出力):	切
コンポーネント出力:	インターレース
4:3 出力:	フル

設定内容

6 ↑/↓ で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。

例：「4：３パンスキャン」



画面表示を消すには

画面表示が消えるまで画面表示ボタンを押します。

クイック設定をするには

手順 3 で「クイック」を選んで、決定ボタンを押すとクイック設定ができます。「手順 4：クイック設定をする」（33 ページ）の手順 5 以降にしたがって、設定していきます。

お買い上げ時の設定に戻すには

1 手順 3 で「リセット」を選び、決定ボタンを押す。

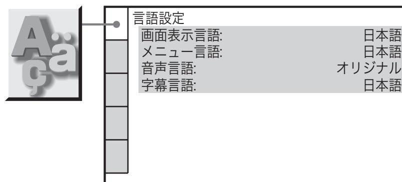
2 ↑/↓ で「はい」を選ぶ。
「いいえ」を選び、決定ボタンを押すとコントロールメニュー画面に戻ります。

3 決定ボタンを押す。
すべての設定をリセットするまで数秒かかります。
リセット中はリモコンの電源ボタンや本体の I/⏻（電源）ボタンを押して、電源を切らないでください。

表示言語や音声言語の設定（言語設定）

画面や音声の言語を設定します。

設定画面で「言語設定」を選びます（「設定画面を使う」78 ページ）。



◆画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

◆メニュー言語（DVD ビデオのみ）

ディスクのメニューの言語を切り換えます。

◆音声言語（DVD ビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

◆字幕言語（DVD ビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。
「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ヒント

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他 →」を選んだときは、言語コード一覧表（98 ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。

ご注意

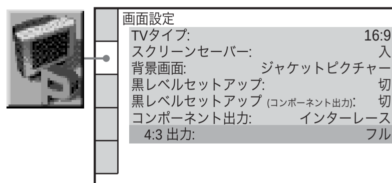
「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

画像に関する設定

(画面設定)

接続するテレビに合わせて設定します。

設定画面で「画面設定」を選びます（「設定画面を使う」78 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

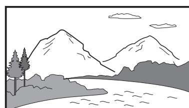


◆ TV タイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の 4：3 画面テレビ）を設定します。

16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する

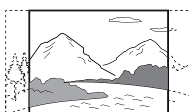
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

DVD によっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

◆スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで 15 分経つか、スーパーオーディオ CD や CD、データ CD（MP3 音声）を 15 分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。▷ を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

入	スクリーンセーバーを使う
切	スクリーンセーバーを使わない

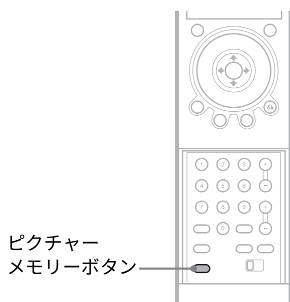
◆背景画面

停止中やスーパーオーディオ CD/CD/データ CD 再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

ジャケットピクチャー	ディスク（CD-EXTRA など）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を表示する。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される
ピクチャーメモリー	あらかじめ自分で本機に記録した画像を背景画面にする。画像を記録する方法は、下記の「画像を記憶する」を参照
グラフィックス	あらかじめ本機に記録されている静止画像を表示する
青	背景色を「青」にする
黒	背景色を「黒」にする

画像を記憶する

再生中に記録したい画像を表示させて、リモコンのピクチャーメモリーボタンを押します。



ご注意

画像を記録させている途中に他の操作をすると画像は記録されません。

◆黒レベルセットアップ

本機の COMPONENT VIDEO OUT 端子以外から出力された映像（NTSC）信号の、黒レベル（セットアップレベル）の基準レベルを切り換えます。

切	出力信号の黒レベルを基準レベルにする。通常はこの設定にする
入	黒レベルの基準レベルを上げる。テレビに映る画像が極端に暗いときは、この設定にする

◆黒レベルセットアップ（コンポーネント出力）

本機の COMPONENT VIDEO OUT 端子から出力された映像（NTSC）信号の、黒レベル（セットアップレベル）の基準レベルを切り換えます。「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」が選ばれていると設定できません。

切	出力信号の黒レベルを基準レベルにする。通常はこの設定にする
入	黒レベルの基準レベルを上げる。テレビに映る画像が極端に暗いときは、この設定にする

ご注意

PAL カラーシステムで記録されたディスクには対応していません。

◆コンポーネント出力

本機の COMPONENT VIDEO OUT の Y、P_B/C_B、P_R/C_R 端子および D1/D2 端子から出力される映像信号の方式を選びます。映像信号の方式については、「用語解説」（93 ページ）をご覧ください。

インターレース	通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときに選ぶ
プログレッシブ	プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビにつないでいるときに選ぶ（NTSC のみ）

「プログレッシブ」に設定して見れなくなったら

プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビをつないでいるときに「プログレッシブ」を選んだ場合、またはソフトに記録されたビデオ信号がプログレッシブ方式への変換に適さない場合には、インターレース方式に切り換えてください。

1 本機裏面の COMPONENT VIDEO OUT/SCAN SELECT スイッチを「INTERLACE」にする。

2 「コンポーネント出力」を「インターレース」にする。

3 COMPONENT VIDEO OUT/SCAN SELECT スイッチをもう一度動かして「SELECTABLE」にする。
COMPONENT VIDEO OUT 端子から出力する場合、通常「SELECTABLE」にします。「コンポーネント出力」で設定した項目を有効にするには、必ず「SELECTABLE」にしてください。

ご注意

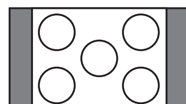
「プログレッシブ」は PAL カラーシステムの映像信号には対応していません。「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定しても、自動的にインターレース方式に変換して映像信号を出力します。

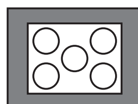
「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」にしたとき

• 4:3 出力

アスペクト比が 4:3 の映像をプログレッシブ方式で出力するときの、処理のしかたを設定します。プログレッシブ（525p）方式対応のテレビでアスペクト比を変更できるときは、テレビの設定を変更してください。

フル	接続しているテレビでアスペクト比を切り替えられるときに選ぶ
ノーマル	アスペクト比が固定で、テレビで切り替えられないときに選ぶ。16:9 のテレビでは左右に黒い帯が入った状態で表示され、4:3 のテレビでは上下左右に黒い帯が入った状態で表示される


16:9 のテレビ


4:3 のテレビ

視聴に関する設定

（視聴設定）

再生するときの視聴に関する設定を再生などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「視聴設定」を選びます（「設定画面を使う」78 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

視聴設定
自動再生: 切
表示の明るさ: 明
一時停止モード: 自動
プレイバックメモリー: 入
音声トラック自動選定モード: 切
つづき再生機能: 入
ブックマークリセット →
CDダイレクト: 切

◆自動再生

電源が入ったときの動作を設定します。本機をタイマー（別売り）と接続したときに設定すると便利です。

切	自動再生しない
入	電源が入ったとき、自動で再生を始める

◆表示の明るさ

本体の表示窓の明るさを調整します。

明	明るくする
暗	暗くする
オート暗	しばらくの間操作しないと暗くなる
オート消	しばらくの間操作しないと消える
消	表示を消す

◆一時停止モード（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

自動	大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られる。通常はこの設定にする
フレーム	動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる

◆プレイバックメモリー

各ディスクごとの「字幕」や「画質調整」などの設定をディスク 300 枚まで本機に記憶させておくことができます（プレイバックメモリー）。ディスクの設定を記憶させるかどうかの設定をします。

入	ディスクを取り出すとき、またはディスクを入れたまま電源ボタンを押してスタンバイモードにしたときに、設定を記憶する
切	設定を記憶しない

次の設定が記憶されます。

- ブックマーク（54 ページ）**
- 音声（60 ページ）*
- アングル（63 ページ）*
- 字幕（64 ページ）*
- ディスクメモ（69 ページ）***
- ビデオコントロール（65 ページ）**

* DVD ビデオのみ
** DVD ビデオ / ビデオ CD のみ
*** DVD ビデオ / ビデオ CD/ スーパーオーディオ CD/CD のみ

ご注意

本機に記憶されたディスクが 300 枚をこえると、記憶された順序の古いものから記憶が消えます。

◆音声トラック自動選定モード（DVD ビデオのみ）

複数の音声記録方式が記録されている DVD ビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、MPEG オーディオ、DTS、ドルビーデジタル）を優先して再生することができます。

切	優先しない
入	優先する

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（79 ページ）より優先されるためです。
- PCM、MPEG オーディオ、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、MPEG オーディオ、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。

◆つづき再生機能（DVD ビデオ、ビデオ CD のみ）

つづき再生を設定します。設定すると 300 枚のディスクまでつづき再生を本機に記録することができます（40 ページ）。

入	300 枚のディスクまでつづき再生を記録する（「切」に設定しても、記録は消去されません）
切	本機にディスクを入れたままのときを除き、つづき再生を記録しない

◆ブックマークリセット →

ブックマークをリセットします。
「ブックマークリセット →」画面で決定ボタンを押すと、本機に登録しているすべてのディスクのブックマークが消去されます。

◆ CD ダイレクト

CD 再生に不要な回路を使わずに再生する機能です。設定を有効にするために、ディスクトレイを開 / 閉してください。
この機能は次の端子からの出力に効果があります。
- AUDIO OUT L/R（1、2）端子
- 5.1CH OUTPUT 端子

切	DTS を含む CD を再生するときに選ぶ
入	普通の CD に不要な回路を使わずに再生できる

ご注意

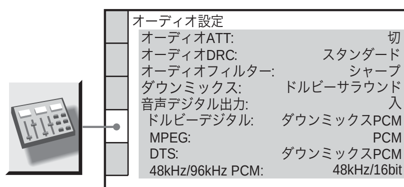
DTS を含む CD を再生中に「入」を選ぶとノイズが出ます。

音声に関する設定

（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「オーディオ設定」を選びます（「設定画面を使う」78 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



◆オーディオ ATT（attenuation（アテニュエイション））

本機の音声出力レベルを低くして、音が歪まないようにします。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
- AUDIO OUT L/R（1、2）端子
- 5.1CH OUTPUT 端子

切	通常はこの設定にする
入	スピーカーからの音が歪むときなどにこの設定を選ぶ

◆オーディオ DRC（Dynamic（ダイナミック） Range（レンジ） Control（コントロール））（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

DVD の音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオ DRC に対応の DVD にのみ効果があります。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
- AUDIO OUT L/R（1、2）端子
- 5.1CH OUTPUT 端子
-「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子（84 ページ）

スタンダード	通常はこの設定にする
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする
ワイドレンジ	迫力のある音になる

◆オーディオフィルター（スーパーオーディオ CD をのぞく）

22.05kHz（Fs - サンプリング周波数 - 44.1kHz のとき）、24kHz（Fs 48kHz）、48kHz（Fs 96kHz のとき）以上の雑音を除去するために使う、デジタルフィルターの種類を選びます。

シャープ	フラットな音質で明瞭な音像定位が得られる。通常はこの設定にする
スロー	雰囲気のあるあたたかい音が得られる

ご注意

ディスクや視聴条件によっては、効果がわかりにくいことがあります。

◆ダウンミックス（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルまたは DTS 方式で記録されている DVD を 2 チャンネルに変換して再生するとき、この設定を切り換えます。リア音声成分（チャンネル）について詳しくは「再生しているチャンネルを表示する」（61 ページ）をご覧ください。
この設定は、次の端子からの出力に効果があります。
- AUDIO OUT L/R（1、2）端子
-「ドルビーデジタル」と「DTS」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子（85 ページ）

ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド（プロロジック）対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
ノーマル	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ

◆音声デジタル出力

DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子から音声信号を出力するかしないかを選びます。

入	通常はこの設定にする。この設定を選んだら、「音声デジタル出力の信号を設定する」を設定する
切	デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる

ご注意

スーパーオーディオ CD の音声はデジタル端子から出力されません。

音声デジタル出力の信号を設定する

DIGITAL OUT OPTICAL または COAXIAL 端子に、デジタル入力端子のある AV アンプや MD デッキなどの機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。

接続について詳しくは、27 ページをご覧ください。

「音声デジタル出力」で「入」を選んでから、「ドルビーデジタル」および「MPEG」、「DTS」、「48kHz/96kHz PCM」を設定してください。

オーディオ設定	
オーディオATT:	切
オーディオDRC:	スタンダード
オーディオフィルター:	シャープ
ダウンミックス:	ドルビーサラウンド
音声デジタル出力:	入
ドルビーデジタル:	ダウンミックスPCM
MPEG:	PCM
DTS:	ダウンミックスPCM
48kHz/96kHz PCM:	48kHz/16bit

設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

• ドルビーデジタル（DVD ビデオ /DVD-RW のみ）

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。出力される信号のサラウンド効果の有無は「オーディオ設定」の「ダウンミックス」の設定によって決まる（84 ページ）
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

• MPEG（DVD ビデオ /DVD-RW のみ）

MPEG 信号のデジタル出力方式を選びます。

PCM	MPEG デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
MPEG	MPEG デコーダーを内蔵しているオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

• DTS（DVD ビデオのみ）

DTS 信号のデジタル出力方式を選びます。

ダウンミックス PCM	DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ
DTS	DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

• 48kHz/96kHz PCM（DVD ビデオのみ）

オーディオ信号のサンプリング周波数を選びます。

48kHz/16bit	DVD ビデオのオーディオ信号は 48kHz/16bit に変換されて出力される
96kHz/24bit	96kHz/24bit の信号を含むすべての信号がそのまま出力される。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは 48kHz/16bit で出力される

ご注意

- 96kHz/24bit に設定しているときでも、サラウンドが選ばれているときは、サンプリング周波数は 48kHz/16bit に変換されます。
- 音声信号が AUDIO OUT L/R（1、2）または 5.1CH OUTPUT 端子から出力されるときは、サンプリング周波数は 96kHz なら 96kHz のままアナログ信号に変換されて出力されます。

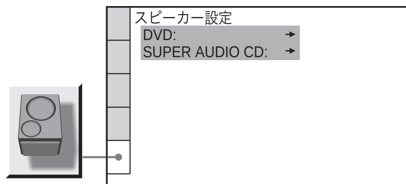
スピーカーの設定をする（スピーカー設定）

サラウンド効果を充分に楽しむために、つないだスピーカーの大きさと、リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。またテストトーンを使って、各スピーカーの音量が同じレベルになるように調整します。

この設定は、5.1 CH OUTPUT 端子でスピーカーを接続している場合に有効です（31 ページ）。

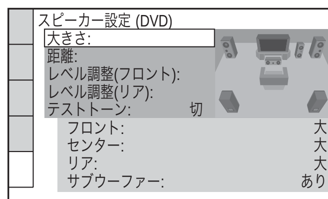
スーパーオーディオ CD 用とそれ以外のディスク用に、別々の設定をすることができます。「SUPER AUDIO CD」で何も設定していないときは、スーパーオーディオ CD 再生時は「DVD」の設定が有効になります。

1 「設定画面を使う」（78 ページ）の手順 1 ～ 4 で、「スピーカー設定」を選ぶ。



2 ↑/↓ で「DVD」または「SUPER AUDIO CD」を選び、決定ボタンを押す。

例：「DVD」を選んだとき



最初の設定に戻すには

項目を選んでクリアボタンを押します。「大きさ」の設定は戻すことはできません。

◆大きさ

つないだスピーカーの大きさを選びます。

• フロント

大	通常はこの設定にする
小	低音再生が充分にできないスピーカーをつないだときに選ぶ。

• センター

大	通常はこの設定にする
小	低音再生が充分にできないスピーカーをつないだときに選ぶ。
なし	センタースピーカーを接続しない場合に選ぶ

• リア

大	通常はこの設定にする
小	低音再生が充分にできないスピーカーをつないだときに選ぶ。
なし	リアスピーカーを接続しない場合に選ぶ

• サブウーファー

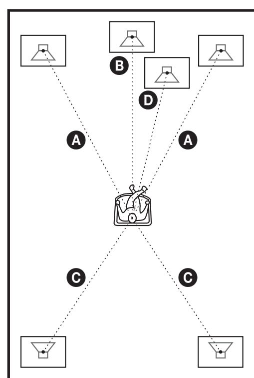
あり	サブウーファーを接続した場合に選ぶ。LFE（低音増強）信号はサブウーファーから出力される
なし	サブウーファーを接続しない場合に選ぶ

ご注意

• 本機ではサブウーファーのカットオフ周波数は120Hz に固定されています。
• ご使用のスピーカーで低音再生が充分にできない場合は、低音再生用にサブウーファーをお使いいただくことをおすすめします。スピーカー設定を「小」に設定すると、低域再配分回路が働き、設定されたスピーカーの低域成分がサブウーファーから出力されます。
• 6 個以下のスピーカーに接続しているときは、本機の音声信号は、フロントスピーカーに配分されます。

◆距離

各スピーカーの距離は次のように設定します。まず、「フロント」でリスニングポジションからフロントスピーカーまでの距離 Ⓐ を設定します。続いて、実際のセンターとリア、サブウーファーのスピーカーの距離になるように「センター」Ⓑ と「リア」Ⓒ、「サブウーファー」Ⓓ の値を調整します。



スピーカーを動かしたときは、スピーカーの位置に合うようにフロントから設定をやり直してください。
カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

フロント（3m）	1 ～ 15m の範囲。0.05m 刻み
センター（3m）	「フロント」の設定距離を基準に、± 2m の範囲。0.05m 刻み。例えば、「フロント」を 6m に設定した場合、「センター」は 4 ～ 8m の範囲に設定できる
リア（3m）	「フロント」の設定距離から、－ 5 ～＋ 2m の範囲。0.05m 刻み。例えば、「フロント」を 6m に設定した場合、「リア」は 1 ～ 8m の範囲で設定できる
サブウーファー（3m）	「フロント」の設定距離から、－ 5 ～＋ 2m の範囲。0.05m 刻み。例えば、「フロント」を 6m に設定した場合、「サブウーファー」は 1 ～ 8m の範囲で設定できる

➡ 次のページへつづく

ご注意

両方のフロントスピーカーまたはリアスピーカーがリスニングポジションから同じ距離に設置されていない場合は、リスニングポジションに近いほうのスピーカーの距離を設定します。

◆レベル調整（フロント）

各フロントスピーカーのレベルは次のように調整します。「テストトーン」を「入」に設定しておくと簡単に調整できます。
カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

L（0dB）	− 6dB ～ 0dB の範囲。0.5dB 刻み
R（0dB）	− 6dB ～ 0dB の範囲。0.5dB 刻み
センター（0dB）	− 12dB ～ 0dB の範囲。0.5dB 刻み
サブウーファー（DVD：− 5dB/SUPER AUDIO CD：0dB）	DVD： （「大きさ」がお買い上げ時の設定のとき） − 10dB ～ 10dB の範囲。0.5dB 刻み。 （「大きさ」がお買い上げ時の設定ではないとき） − 15dB ～ 5dB の範囲。0.5dB 刻み。 SUPER AUDIO CD： − 10dB ～ 10dB の範囲。0.5dB 刻み。

◆レベル調整（リア）

各リアスピーカーのレベルは次のように調整します。「テストトーン」を「入」に設定しておくと簡単に調整できます。
カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

L（0dB）	− 12dB ～ 0dB の範囲。0.5dB 刻み。
R（0dB）	− 12dB ～ 0dB の範囲。0.5dB 刻み。

すべてのスピーカーの音量を同時に調整するには

アンプ側で音量調整をします。

◆テストトーン

スピーカーからテストトーンを聞くことができます。5.1CH OUTPUT 端子で接続しているときにこの設定をして、「レベル調整（フロント）」と「レベル調整（リア）」を調整します。

切	テストトーンは出ない
入	レベルを調整している間、調整しているスピーカーから順番にテストトーンが聞こえる

スピーカーの音量を調節する

1 設定画面で「スピーカー設定」を選び、決定ボタンを押す。

2 「テストトーン」を選び、「入」にする。
各スピーカーから順番にテストトーンが聞こえます。

3 リスニングポジションの位置から、「レベル調整（フロント）」または「レベル調整（リア）」を選び、↑/↓で設定を調整する。
調整している間は、調整している左右スピーカーから同時にテストトーンが聞こえます。

4 調整が終わったら、「切」にして、テストトーンを消す。

ご注意

デジタル出力端子からテストトーンは出力されません。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう 1 度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターまたは、ソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ テレビの接続を確認し（23 ページ）、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換える。
➡ ディスクに汚れや傷がある。
➡ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子（Y/PB/PR）に本機を接続している。S 映像コードまたは映像コードで接続する。
➡ プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選んでいる。
本体裏面の COMPONENT VIDEO OUT/SCAN SELECT スイッチを「INTERLACE」にする。画面が見えるようになったら「コンポーネント出力」を「インターレース」に戻し（81 ページ）、本体裏面の COMPONENT VIDEO OUT/SCAN SELECT スイッチを「SELECTABLE」に戻す。
➡ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、設定画面の「画質設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は「コンポーネント出力」を「インターレース」にする（81 ページ）。
➡ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部の DVD プログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。
本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビの S 映像入力端子へ接続してみる（23 ページ）。
➡「VIDEO OFF」機能が働いている（37 ページ）。
➡ テレビと再生するディスクのカラーシステムが違う。

設定画面の「画面設定」の「TV タイプ」で設定した画像の形で再生できない。

➡ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

音声

音が出ない。

➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ アンプの入力端子を間違えている（29 ～ 31 ページ）。
➡ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
➡ 一時停止、スロー再生になっている。
➡ 早送りまたは早戻しになっている。
➡ DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子から音が出ないときは設定画面を確認する（85 ページ）。
➡ スーパーオーディオ CD の音声信号は DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子から出力されない。

➡ 次のページへつづく

音がひずむ。

➡ 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオ ATT」を「入」にする（84 ページ）。

音が小さい。

➡ DVD によっては、再生時の音量が小さい場合がある。「オーディオ DRC」を「テレビ」に設定（84 ページ）すると、改善されることがある。

➡ 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオ ATT」を「切」にする（84 ページ）。

ドルビーデジタルや MPEG オーディオ、DTS の音声を再生しているとき、サラウンド効果がわかりづらい。

➡ スピーカーの設定を確認する（86 ページ）。

➡ 5.1CH 音声で記録されていないディスクを再生している。

センタースピーカーの音しか聞こえない。

➡ ディスクによっては、センタースピーカーからだけ音声が聞こえる。

操作

リモコンで操作できない。

➡ リモコンの電池が消耗している。

➡ リモコンと本体との間に障害物がある。

➡ リモコンと本体との距離が離れている。

➡ 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。

➡ リモコンモードの設定が本体の COMMAND MODE 設定と合っていない（19 ページ）。

再生が始まらない。

➡ ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。

➡ ディスクが斜めにずれて入っている。

➡ 再生できないディスクを入れている（9 ページ）。

➡ 本機で再生できない地域番号の DVD を入れている（9 ページ）。

➡ 結露している（3 ページ）。

➡ ファイナライズされていない DVD-R や DVD-RW、CD-R、CD-RW を再生しようとしている（9 ページ）。

MP3 を再生できない。

➡ 次のような音声を再生している（46 ページ）。
－ISO9660 レベル 1、レベル 2、Joliet に準拠していない MP3 音声
－MP3PRO で記録された音声
－拡張子が「.MP3」以外の MP3 音声
－拡張子は「.MP3」だが、MP3 形式以外のデータ
－MPEG 1 Audio Layer 3 以外の音声

DVD-RW を再生中に、「著作権データで制限があります」と表示され、テレビ画面がブルー画になる。

➡ BS デジタル放送などの映像には「録画自由」「1 回だけ録画可能」「録画禁止」の 3 種類のコピー制御信号が含まれている場合があります。本機では「1 回だけ録画可能」の信号が含まれている部分はブルー画になり、映像を見ることができません。再生可能な場所を自動的に探すために、数分かかる場合があります。

データ CD のアルバム / トラック名が正しく表示されない。

➡ 本機で表示できる文字はアルファベットと数字のみ。それ以外の文字は「＊」で表示される。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ プログラムまたはシャッフル、リピート、A-B リピート再生になっている（47 ページ）。
➡ つづき再生になっている（40 ページ）。

再生が自動的に始まる。

➡ 自動的に再生が始まるディスクを入れている。
➡ 設定画面の「視聴設定」の「自動再生」で「入」を選んでいる（82 ページ）。

再生が自動的に止まる。

➡ オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

停止、サーチ、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。

音声言語を変更できない。

➡ スクロールキーで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する。
➡ 再生している DVD に複数の音声言語が記録されていない。
➡ 音声言語の切り換えを禁止している DVD を再生している。

字幕を変更できない、または消すことができない。

➡ スクロールキーで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する。
➡ 再生している DVD に複数の字幕が記録されていない。
➡ 字幕の変更又は消す事を禁止している DVD を再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ スクロールキーで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する。
➡ 再生している DVD に複数のアングルが記録されていない。
➡ 表示窓のアングル表示が点灯していない場面で、アングルを切り換えている（12 ページ）。
➡ アングルの変更を禁止している DVD を再生している。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、本体電源を抜く。

表示窓に何も表示されない。

➡ 設定画面の「視聴設定」の「表示の明るさ」を「消」または「オート消」にしている。「明」または「暗」、「オート暗」にする（82 ページ）。

画面および表示窓に 5 桁のアルファベットと数字が表示されている。

➡ 自己診断機能が働いている。92 ページの表にしたがって対応する。

ディスクトレイが開かず、表示窓に「LOCKED」と表示される。

➡ チャイルドロックが設定されている（38 ページ）。

ディスクトレイが開かず、表示窓に「TRAY LOCKED」と表示される。

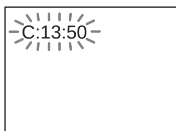
➡ テクニカルインフォメーションセンターまたは、お客様ご相談センター、ソニーサービス窓口、お買い上げ店に問い合わせる。

データ CD を再生中、テレビ画面に「データエラー」と表示される。

➡ MP3 音声のトラックが壊れている。
➡ MPEG1 Audio Layer3 以外の音声を再生している。

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面および表示窓にアルファベットと数字で 5 桁のサービス番号（例：C 13 50）が表示されます。その際は次のように対応してください。



サービス番号の最初の 3 桁	原因と対応
C 13	ディスクが汚れています ➡ 柔らかい布でディスクを拭きます（10 ページ）
C 31	ディスクが正しく入っていません ➡ ディスクを正しく入れ直します
E XX （XX は任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました ➡ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の 5 桁すべてをお知らせください 例：E 61 10

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。詳しくは、添付の「本機の調子がおかしいと思ったら」、「ソニーご相談窓口のご案内」、または裏表紙をご覧ください。

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名：DVP-NS999ES
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R など）：
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

用語解説

インターレース（飛び越し走査）（81 ページ）

映像の 1 フレーム（コマ）を 2 つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方式。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

インデックス（CD）/ ビデオインデックス（ビデオ CD）（12 ページ）

再生したい部分を見つけやすいように、1 つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

シーン（12 ページ）

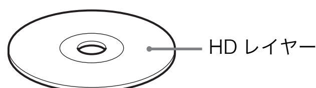
PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオ CD で、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。

スーパーオーディオ CD（SACD）（43 ページ）

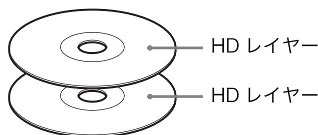
スーパーオーディオ CD とは、現在の CD などに用いられている PCM 方式とは異なる DSD（ダイレクトストリームデジタル）方式で記録された、新しい高音質オーディオディスクの規格です。DSD 方式は、CD の 64 倍にあたるサンプリング周波数で、1 ビットの量子化の採用により、現行の CD をはるかに超える広い再生帯域と可聴帯域における十分なダイナミックレンジを確保し、原音をより忠実に再現します。
スーパーオーディオ CD には、以下のような種類があります。

- スーパーオーディオ CD（シングルレイヤーディスク）
  HD（ハイデンシティ）レイヤー（スーパーオーディオ CD 用の高密度信号層）単層のみのディスクです。

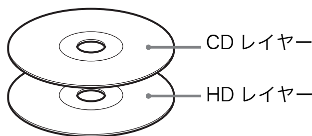
➡ 次のページへつづく



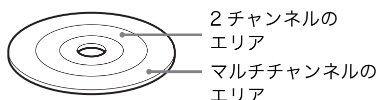
- スーパーオーディオ CD（デュアルレイヤーディスク）
  長時間再生を可能にした、HD レイヤーが 2 層になっているディスクです。2 層構成ですが片面読み出しのため、ディスクを裏返す必要はありません。



- スーパーオーディオ CD+CD（ハイブリッドディスク）
  HD レイヤーと CD レイヤーとが 2 層になったディスクです。2 層構成ですが片面読み出しのため、ディスクを裏返す必要はありません。また、CD レイヤーの内容は通常の CD プレーヤーでも再生できます。



- 2 チャンネル＋マルチチャンネルスーパーオーディオ CD ディスク
  スーパーオーディオ CD の HD レイヤーに 2 チャンネルのエリアとマルチチャンネルのエリアの両方が記録されているディスクです。



タイトル（12 ページ）
DVD に記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトではアルバム 1 枚（または 1 曲）にあたる。

チャプター（12 ページ）
DVD に記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1 つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック（12 ページ）
ビデオ CD、CD に記録されている映像や曲の区切り（1 曲分）。

ドルビーサラウンド（プロロジック）（30、84 ページ）
ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

ドルビーデジタル（31、85 ページ）
ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1 チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。映画館の立体音響システム「ドルビーデジタル」と同様の高水準のデジタル音声を 5.1 チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ビデオ素材、フィルム素材（NTSC）（65 ページ）
DVD の映像素材の種類。ビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションやコンサートなどの音楽番組（1 秒 30 フレーム、60 フィールド）を DVD に記録したもの。フィルム素材とは映画フィルム（1 秒 24 コマ）を DVD に記録したもの。

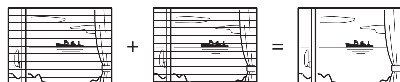
プログレッシブ（順次走査）（NTSC）（81 ページ）

映像の 1 フレーム（コマ）を 2 つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1 フレームを 1 つの画像で表示する方式。従来のインターレース方式が 1 秒を 30 フレーム（60 フィールド）で構成するのに対して、はじめから、1 秒を 60 フレームで構成するため、静止画や文字、横線の多い場面などで高品質な映像を再現できる。

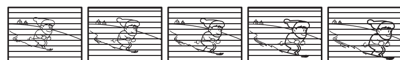
プログレッシブ方式への変換方法（NTSC）

- ビデオ素材の変換方法（65 ページ）

ビデオ素材は、フィールドという走査線を 1 つずつ飛ばした間欠画像を 2 枚組み合わせて、30 フレーム（60 フィールド）の画像で 1 秒の映像を構成しています（インターレース方式）。



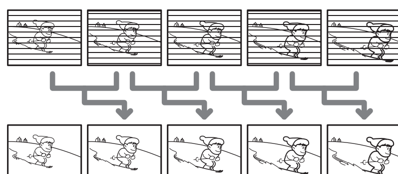
インターレース方式の映像は 1 秒あたり 30 フレーム（60 フィールド）で構成されていますが、1 コマ 1 コマを上記のフィールド画像で構成すると、走査線が目立つ映像になってしまいます。
また、フィールド画像は走査線を 1 つずつ飛ばした間欠画像のため、画像そのものの情報量が少なくなってしまいます。そのため映像は密度のない、荒いものとなってしまいます。



プログレッシブ方式の映像は、1 秒あたり 60 フレームで構成されています。本機では映像の動きを検出して、フィールドやフレーム間での補間方法を動きにあわせて判別し、プログレッシブ方式に変換しています。
例えば、動きのない画像の場合には、前フィールドの画像情報を使って補間します。動きのある映像の場合は、画像の動きを検出して、その動く量に応じて同じフィールドの画像情報を使用し、なめらかな映像になるように補間しています。

このような処理を行うことで、インターレース方式と比較して、高品質なプログレッシブ方式の映像をお楽しみいただけます。

インターレースの画

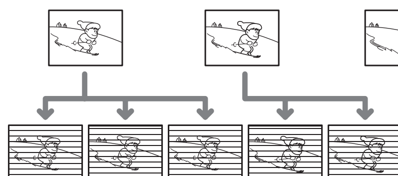




プログレッシブ変換した画

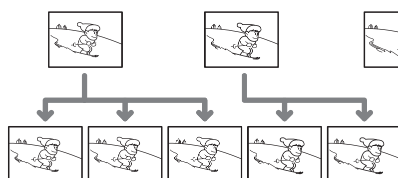
- フィルム素材の変換方法

フィルム素材は、24 コマの画像で 1 秒の映像を構成してます。通常のテレビでフィルム素材を再生するときは、24 コマの画像を、走査線を 1 つずつ飛ばした間欠（フィールド）画像に分解して表示するため、フィルム素材の持つ本来の情報量を生かすことができませんでした。



インターレースの画

この問題を解決するために、本機では 1 秒あたり 24 コマの画像を、3 フレームと 2 フレームずつ交互に割り当てることで、1 秒 60 フレームの画像に変換しています。



プログレッシブ変換した画

この処理を行うことで、フィルム素材本来の原画により近い映像を再現するだけでなく、プログレッシブ方式ならではの密度感の高い、高品質な映像をお楽しみいただけます。

➡ 次のページへつづく

D 映像信号（23 ページ）

D 端子付きデジタルテレビと 1 本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D 端子には対応する信号フォーマットによって D1、D2、D3、D4 端子があります。

- D1 端子：525i（480i）の信号
- D2 端子：525i（480i）と 525p（480p）の信号
- D3 端子：525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号
- D4 端子：525i（480i）と 525p（480p）と 1125i（1080i）と 750p（720p）の信号

* i はインターレース、p はプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS（31、85 ページ）

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1 チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を 5.1 チャンネルで楽しむことができる。
全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVD ビデオ（9 ページ）

CD と同じ直径で最大 8 時間までの動画が記録できるディスク。
片面 1 層で 4.7GB（Giga Byte）と CD の 7 倍の情報が記録でき、片面 2 層で 8.5GB、両面 1 層では 9.4GB、両面 2 層では 17GB が記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約 1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報は PCM の他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DVD-RW（9 ページ）

DVD-RW は、DVD ビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。DVD-RW には、ビデオモード、VR モードという 2 つの記録モードがある。
ビデオモードは、DVD ビデオフォーマットと互換性があるモード。
VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能。

DVD+RW（9 ページ）

DVD+RW は、DVD ビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。
DVD+RW は、DVD ビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用している。

MPEG オーディオ（85 ページ）

ISO/IEC に認定された世界標準規格のデジタル音声圧縮技術。MPEG 1 は 2 チャンネルまでのステレオ音声、DVD に使われる MPEG 2 は 7.1 チャンネルまでのサラウンド音声に対応する。

主な仕様

システム

形式：CD/DVD プレーヤー
信号方式：JEITA 標準、NTSC/（PAL）カラー方式

音声特性

周波数特性：DVD VIDEO（PCM 96 kHz 再生時）：2 Hz ～ 44 kHz（44 kHz 時：－2 dB ± 1 dB）、スーパーオーディオ CD：2 Hz ～ 100 kHz（50 kHz 時：－3 dB ± 1 dB）、CD：2 Hz ～ 20 kHz（± 0.5 dB）*
全高調波ひずみ率：DVD ビデオ / スーパーオーディオ CD：0.0012%、CD：0.0016%*
ダイナミックレンジ：DVD ビデオ / スーパーオーディオ CD：103 dB、CD：99 dB*
ワウ・フラッター：測定限界（± 0.001% W PEAK）以下 *
* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

出力端子

（端子名：端子形状 / 出力レベル / 負荷インピーダンス）
DIGITAL OUT OPTICAL：光出力コネクター / － 18 dBm（発光波長 660 nm）
DIGITAL OUT COAXIAL：ピンジャック / 0.5 Vp-p/75 Ω
5.1CH OUTPUT：ピンジャック /2 Vrms/10 kΩ
AUDIO OUT L/R (1、2)：ピンジャック / 2 Vrms/10 kΩ
VIDEO OUT (1、2)：ピンジャック / 1.0 Vp-p/75 Ω
S1 VIDEO OUT (1、2)：4 ピンミニ DIN/輝度信号：1.0 Vp-p、色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
COMPONENT VIDEO OUT (Y、PB/CB、PR/CR)：ピンジャック /Y: 1.0 Vp-p, PB/CB、PR/CR: インターレース *=0.648 Vp-p、プログレッシブ またはインターレース **=0.7 Vp-p/75 Ω
*「黒レベルセットアップ」が「入」のとき
**「黒レベルセットアップ」が「切」のとき
COMPONENT VIDEO OUT (D1/D2)：D 端子 /Y: 1.0 Vp-p、CB、CR：インターレース *=0.648 Vp-p、プログレッシブ またはインターレース **=0.7 Vp-p/75 Ω
*「黒レベルセットアップ」が「入」のとき
**「黒レベルセットアップ」が「切」のとき

電源、その他

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：20 W
最大外形寸法：430 × 113 × 349 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量：約 6.4 kg
許容動作温度：5 ～ 35 ℃
許容動作湿度：25 ～ 80 %

付属品

19 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

言語コード一覧表

詳しくは 60、64、79 ページをご覧ください。

言語名表記は ISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian

コード	言語
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori

コード	言語
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian

コード	言語
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

索引

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1 ：修理受付
2 ：使用方法や故障と思われるご相談
3 ：お買物相談
4 ：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5 ：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed In Japan